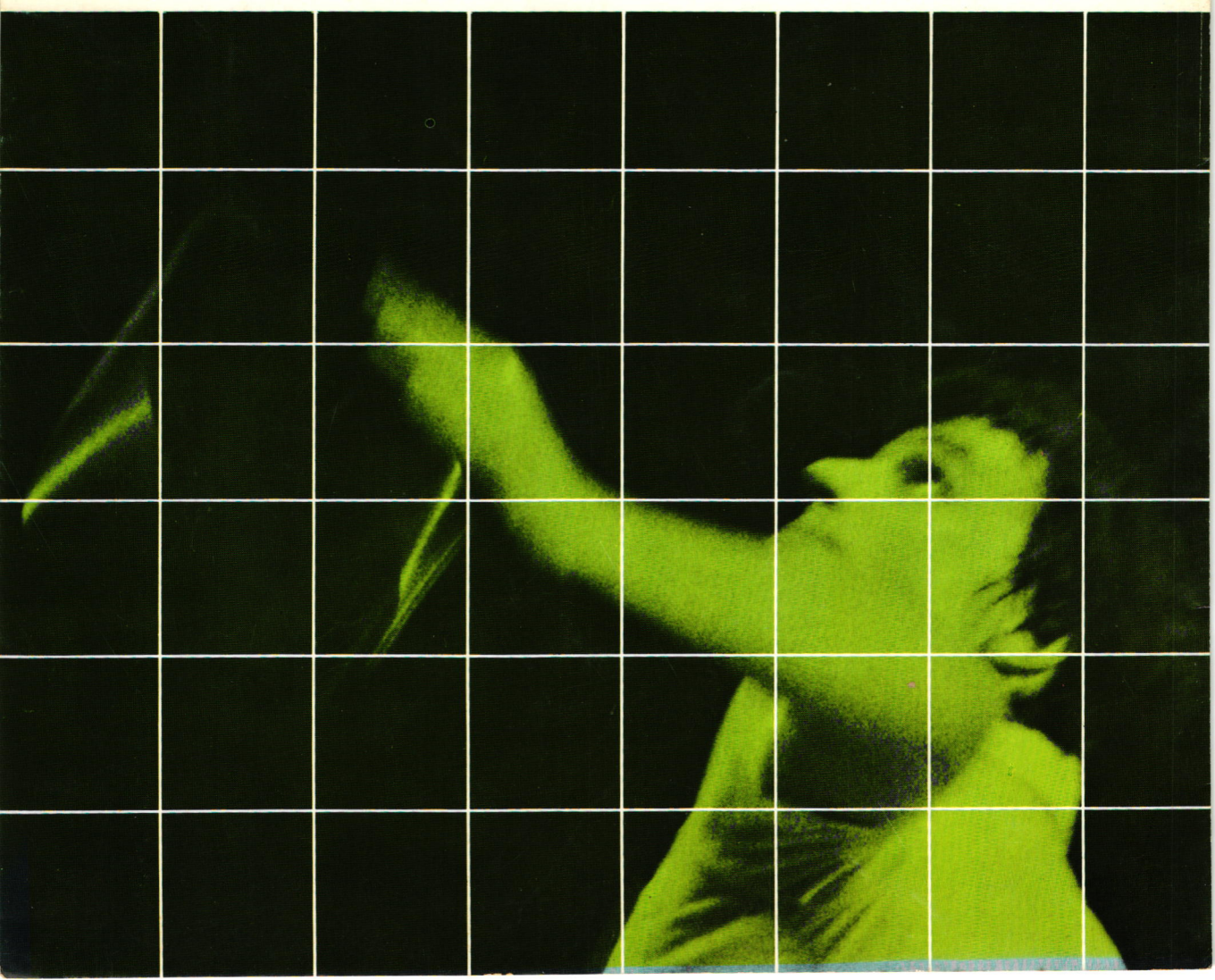
昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和52年6月1日発行（毎月1回1日発行）

バドミントン 6

日本バドミントン協会　The Badminton World No.92 1977



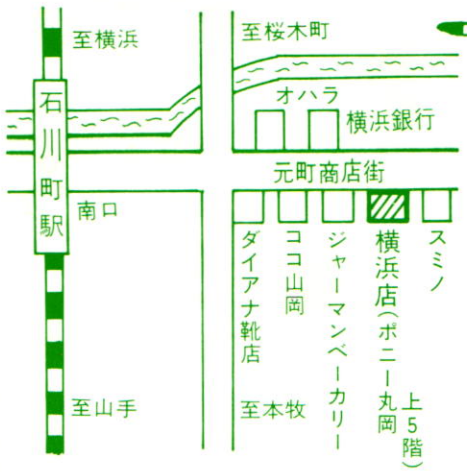
7月2日オープン
バグース!!元町

バグース BAGUS とはインドネシア語で
「最高だ」「素晴しい」という意味です

移転オープニングセール
7月2日(土)～12日(火)

なお、オープン当日2日には、バドミントンの相沢マチ子プロ（ヨネックス専属）、テニスの渡辺功プロ（河崎ラケット専属）のサイン会が行われます。

ラケットショップ元町・横浜店が3倍になって元町商店街へ!!



横浜店・横浜市中区元町5－203 元町スカイビル5階（ポニー丸岡上）
☎045－651－2020

バドミントン 6

JUN. 1977

第1回世界選手権大会速報

梶野尾・植野組に栄冠……2

――男子は銭谷が健闘、デルフスと大熱戦

第8回全日本女子チャンピオンズ・トーナメント

女王の意地、湯木五連勝……4

――若手の奮闘、大会を盛り上げる

全英バドミントン選手権大会

混合ダブルス詳報……11

日英対抗＝トーキー・ワルゾール・ニューキャッスル・プレストン

効率的運営で親善を強める……遠井　稔男……12

せまる第27回全日本実業団バドミントン選手権大会

連覇をねらう電電東京、サントリー……15

新人ふくめ160チーム、1500余名が参加・熱戦

新連載――**梶野尾悦子**

エツコのバドミントン・ライフ……32

新・ガッツ小島の体当り実戦教室2――**小島一平**

かつ、勝つ、克つ……34

青山学院大学バドミントン部・春季合宿＝体験入部

体育館をゆるがす喚声と熱気……36

◎「おめでとう」二題／8

◎読者と編集者／14

◎全英選手権のプログラムから／38

◎協会からのお知らせ／42

◎昭和52年度大会予定カレンダー／44

表紙デザイン・構成＝野間デザイン室

表紙・本文写真＝赤星三樹，

―速報―

第1回世界選手権大会

女子ダブルス 栂野尾・植野組に栄冠

男子は銭谷が健闘、デルフスと大熱戦

全英にひき続き世界の強豪を集めて第1回世界バドミントン選手権が5月3～8日の6日間、スウェーデンのマルメで開催された。

日本からは板垣隆房監督をはじめ男子4名、女子6名の選手が参加し、女子ダブルスで栂野尾悦子・植野恵美子組が、全英に続いて制覇という快挙を成し遂げた。

◇男子シングルス

▽一回戦

キールストロム(S) 2-15 15-8 1-15 ガンジー(I) 0

池田 2-15 15-5 0

プラカシ(I) 2-15 17-15 14-11 0

栂野尾 0

土田 2-17 15-16 7-12 15-15 1

タルボット(E) 0

銭谷 2-15 15-8 1-15 0

ガンジー(I) 0

▽二回戦

土田 2-15 15-10 9-0 ガングリ(I) 0

銭谷 2-15 15-6 0 ユスフ(IN) 0

▽三回戦

ハディヤント(IN) 2-15 17-2 15-18 9-1

土田 1

デルフス(D) 2-15 17-12 7-15 15-1

銭谷 1

▽準決勝

デルフス(D) 2-15 15-6 0 キールストロム(S) 0

プリ 2-15 15-6 0

デルフス(D) 2-18 15-17 1-0 スミラト(IN) 0

▽決勝

デルフス 2-15 15-6 0

プリ 2-15 15-5 0

◇女子シングルス

▽一回戦

植野 2-11 11-7 5-0

スチュアート(S) 0

▽二回戦

湯木 2-11 11-1 8-0 キルビントン(E) 0

植野 2-11 11-4 3-0 スーリン(T) 0

徳田 2-11 7-11 11-6 0 リュースケン(H) 1

近藤 2-11 11-5 3-0 チェム(T) 0

▽三回戦

湯木 2-11 11-3 7-2 11-1

ブリギッド(G) 0

植野 2-11 11-8 7-0 ビューセコム(H) 0

徳田 2-11 11-2 1-0 ワイヤンチ(IN) 0

近藤 2-11 11-3 1-0 ジェプソン(S) 0

▽準々決勝

湯木 2-12 11-9 5-0 クラークソン(C) 0

ギルクス(E) 2-11 11-7 2-0 植野 0

ロックウッド(E) 2-11 11-1 6-0 徳田 0

コーペン(D) 2-11 11-3 10-5 12-1 近藤 1

▽準決勝

ギルクス 2-11 11-7 4-0 湯木 0

コーペン 2-11 11-0 3-0 ロックウッド 0

▽決勝

コーペン 2-12 12-11 9-0 ギルクス 0

◇男子ダブルス

▽一回戦

銭谷 2-15 15-9 8-0 リダー(H) 0

土田 2-15 14-9 5-0 ジャラミリダー 0

栂野尾 2-11 キケン 0

池田 ロ兄弟(M) 0

▽二回戦

銭谷 2-15 9-12 15-7 1

土田 2-15 15-12 9-15 1

ガングリ 0

プラカシ(I) 1

▽三回戦

フローマン・キー 2-15 15-5 11-0

ルストローム(S) 0

池田 0

栂野尾 0

▽準決勝

クリスチャン・チャンドラ(IN) 2-15 15-11 4-0

土 0

銭谷 0

田 0

チャンドラ・クリスチャン(IN) 2-15 15-10 8-0

スチーブンス・ットレジェット(E) 0

チュンチュン・ワンジュディ(IN) 2-15 15-11 7-0

フローマン・キールストローム 0

▽決勝

チュンチュン・ワンジュディ 2-15 15-4 6-0

クリスチャン・チャンドラ 0

◇女子ダブルス

▽二回戦

徳田 高田 2 (15—15 15—9 0—4) 0 ラーソン ランド(S)

梅野尾 植野 2 (15—15 3—15 1—0) 0 リン・リュー(T)

▽三回戦

ロックウッド・ペリー(E) 2 (15—15 9—7) 0 徳田 高田

梅野尾 植野 2 (15—15 7—8) 0 スリヤンティ・イメルダ(IN)

▽準決勝

スコブガード・コーペン(D) 2 (17—15 15—10) 0 トレジェット・ペリー(E)

タルボット・ギルクス(E) 2 (18—17 17—6) 0 ギルランド・フロックハート(E)

▽決勝

梅野尾 植野 2 (15—8 15—17 1—15—8) 0 ボルグストロム・ニールセン(D)

ロックウッド・ペリー(E)

◇混合ダブルス

▽一回戦

ビューセ コム・リュースケン(H) 2 (4—15 15—6 1—15—8) 0 ロックウッド・ペリー(E)

梅野尾 植野 2 (15—15 15—11 0—10) 0 ビューセ コム・リュースケン

▽準決勝

ハンセン ビューセコム(D)(H) 2 (18—15 15—11 0) 0 梅野尾 植野

池田 高田 2 (不戦勝) 0 ウェング・バーグ・ボルジェソン(S)

▽二回戦

エディ・ジャイルズ(E) 2 (12—15 15—11 15—7 1) 高田 池田

大会を振り返って

梅野尾悦子選手の話……スウェーデンに行く前は、全英が終って心身ともに虚脱状態になり、とても不安でした。けれども試合前に2、3日練習期間があったり一戦一戦重ねるたびに調子が出てきたので勝つことができました。正直いって嬉しいよりも先に、ほっとしたような安堵感の方が強かったです。準々決勝で足をひねり今回は運がないのかなと思ったんですが、決勝の日には痛みもひいて助かりました。

内容的には、植野さんの前衛の処理が大分うまくなり、自分から積極的にネットへ出るようになったので、攻撃的なダブルスになってきたような気がします。それに植野さんの持っている若さ、明かるいムードが随分役立ったように思います。

植野恵美子選手の話……オールジャパンで優勝しても、全英で勝っても、まだまだ即席ダブルスという目で見られていたので2—0で勝ったことで(決勝で)自信が持てるような気がします。今度の大会では前衛の動きも少し覚えてきた感じがします。梅野尾さんが前衛にいて、私が後で打っているのが理想的なんですが、その逆の場合でも得点できるという幅が出てきたように思います。

湯木博恵選手の話……今回はコンディションの調整が思うようにできなくて残念なことをしました。それでもいつもは試合をしながら徐々に調子を整えていくんですが、今度の会場は天井が低くくてロング・ハイ・サービスが使えず、最後まで自分のペースを取り戻すことができませんでした。

池田信孝選手の話……男子は成績的には振るいませんでしたが、悲観することもないと思います。下手に遠征慣れするよりも、もっと国内で力をつけてからでも遅くはないと感じました。男女とも日本にはあまり知られていない有望な新人が沢山います。外国のスタープレヤーだけが相手だと思ったら大間違いだと思いました。女子も、湯木さん、梅野尾さんにいつまでも依存していてはユーバー杯を控えて、危険ではないかと思います。

梅野尾昌一選手の話……試合を終って振り返ってみると、これといった実力差(フットワークが悪いわけではない、ラケットの振り方がおかしいわけでもない)があるというよりも、どうしても勝ち方がつかめないというのが本音です。一度勝ってしまえば、次からトントンといくのでしょうが、今回の銭谷君にしてもマッチポイントを握りながら、あと一本がどうしても奪えない。男子の場合、勝ちたい勝ちたいという気持が強すぎて、かえって練習時のリラックスした実力が出ない。こんな風に感じました。

外国勢は、インドネシア、デンマークに続きスウェーデンの台頭が目ざましく、トマス杯が近づけばアジアの各国は急速に力をつけるはずです。気持ちを引き締めてかからねばと思います。

(混合複決勝は記録未着)



大会入場式

第8回全日本女子チャンピオンズ・トーナメント

女王の意地、湯木五連勝

若手の奮闘、大会を盛り上げる

第8回全日本女子チャンピオンズ・トーナメントが、全英選手権、女子単・複制覇の興奮もさめやらぬ四月二四日(日)、国立競技場代々木第二体育館において、スウェーデンのマルメで開催される第1回世界選手権出場選手の壮行を兼ねて、華やかな雰囲気に包まれて行われた。

全英選手権優勝〝湯木〟の独壇場であろうという予想に反し、決勝では徳田が「あわや」のシーンを展開したほか、若手同士の熱のこもった好試合など、随所に見ごたえのある大会となった。

▽1回戦

植野恵美子(四条)2 — 11—5, 4—11, 11—6 — 1 よし子(日女体大) 米倉

(瞬短大)

近藤小織(日女体大)2 — 11—6, 3—11, 11—1 — 1 高田幹子(サントリー) 梅野尾悦子(ヨネックス)

徳田敦子(サントリー)2 — 11—5, 11—7 — 0

湯木博恵(カワサキ)2 — 11—2, 11—3 — 0 石川好子(四条瞬短大)

▽準決勝

徳田敦子2 — 12—10, 11—7, 5—11 — 1 近藤小織

湯木博恵2 — 11—8, 11—6 — 0 植野恵美子

▽決勝

湯木博恵2 — 11—7, 11—1, 4—11 — 1 徳田敦子

(湯木は五連勝、六度目)

ライバル、火花ちらす

〈植野VS米倉〉

一昨年のインターハイ決勝でファイナルを演じているこの二人は、共に負けられぬ意地を見せてガップリ四つに組み、若手らしい思い切ったプレーを繰り広げた。

米倉は1ゲーム目から果敢に打って出る。サイドアウトにもクサることなくスマッシュを打ち続けたのが功を奏し5—4と逆転。しかしここから緊張の糸が切れたように。クリアー、スマッシュにミスが連続して1ゲームを失う。スマッシュでしかポイントを取れない苦しい米倉だったが、植野も2ゲーム目、3オールからの米倉のネットインに気落ちしたのか、クリアーにミスを重ねて自滅の恰好で、〝ライバルの対決〟はファイナルにもつれこんだ。

米倉の攻撃はさらに加速度を増すが、植野もよく落ち着いて0—3からジリジリとばん回、落差の大きい鋭角的なカットを主体に5—4とリードを奪い、サービスをショートに切り換えて米倉の動揺をうまく誘い、スマッシュを有効に使って勝利をものにした。

米倉の強引とも思える先制攻撃に対し、植野は終始、四隅を丁寧に突く大きなゆさぶりで対抗しスタンドをわかせた。終盤になってショートサービスを多用できた分だけ、植野にわずかながら余裕が見られた。

近藤、独り相撲

近藤が良い面と悪い面をそれぞれ1、2ゲームに分けて披露した。1ゲーム目は面白いようにスマッシュ、カット、ネットが決まり高田を翻弄した。特に、フォアからのクロスカット、ラウンド・ザ・ヘッドストロークからのストレートスマッシュが高田の逆をついて絵のように決った。しかし絶好調かと思わせたその矢先、2ゲームになるとそのすべてが凡ミスとなって、一気に0—7、インターフェアまで手伝って3ポイントしか取れずにファイナルを迎えた。

〝ホームランか三振か〟といったプレーの近藤に対し、この日の高田も体のキレが悪く、自分のペースを作れず、最後はスピードの鈍ったところをスマッシュ、ネットで決められてしまった。

高田に今一歩のスピードとスタミナがあれば、今日の近藤は負け試合ではなかったか。

ともに〝若さ〟という課題が現われた内容だった。



お名残り惜しそうに会場を去られる秩父宮妃殿下
選手たちも整列してお見送り

〝がまんの子〟徳田

〈徳田VS栂野尾〉

第1ゲーム前半から長いクリアーの応酬で一進一退の緊迫した展開となる。4―4、5―5、6―6、7―7、共に相譲らず、重苦しいクリアー合戦から根負けしたのは栂野尾だった。根比べに勝った徳田のスマッシュが左右に連続して決まり、栂野尾も持前の攻撃的なカット、スマッシュが見られぬまま、徳田のペースに押し切られてしまった。

栂野尾は第2ゲームになっても徳田の深いクリアーに手を焼き、突破口をつかめずに万事休して、徳田の成長に軍配が上がった。

2―0ではあったが、いかにもシングルスらしい〝根比べ〟は、見ごたえのあるキメの細かい試合だった。



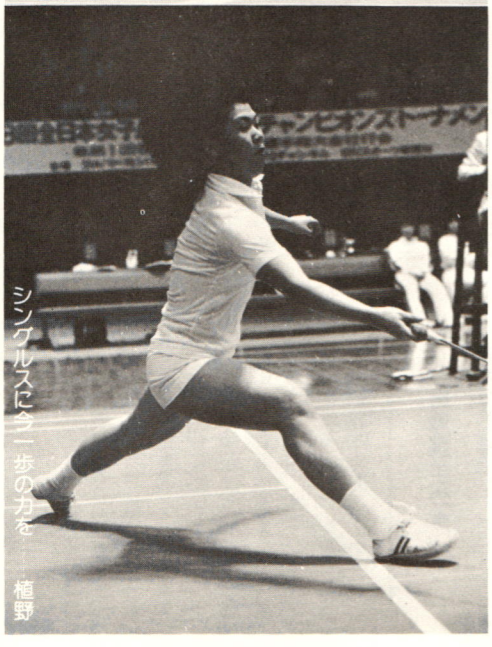
スケールの大きさは将来に期待をいだかせる石川

石川、明日があるさ

〈湯木VS石川〉

若手のホープ石川が湯木に対しどんな内容を見せるか期待が持たれたが、緊張しすぎたのか、そのヘンリンすらも出せずじまいだった。

石川の足が地についていないのを証明するかのように、湯木のストロークはほとんど石川の逆モーションを突いて試合にさせなかった。



シングルスに今一歩の力を――植野

好調同士の攻防

〈徳田VS近藤〉

檜舞台での湯木との一戦は、心理的に大きな負担となったことと想像にかたくないが、この経験を大切に、次の機会で生かしてもらいたい。



第1回世界選手権大会の壮行も行われた

近藤は例によって速い攻撃を仕掛け、徳田は丁寧な配球でこれを粘り逆襲するという、二人の特色が十分に発揮された好ゲームとなった。

第1ゲーム、近藤はフォアからのクロスカット、徳田のフォアを突くスマッシュで先手を取れば、徳田は辛抱強く堪えて、2ゲーム目の2—7の劣勢から逆転に成功した。特に奇策とも思えるフォアからのクロスドライブがあざやかに2本決まり、近藤のテンポを狂わせた。

ファイナルに入ってからもお互いの持ち味を生かした激しいラリーの応酬で、勝敗の予断を許さぬ攻防が続いた。先にマッチポイントを握ったのは近藤だったが、この8—10から徳田は猛然とスマッシュを左右に叩きつけて10オールとし、近藤のカットミスに乗じて、とどめは逆クロスのスマッシュを見事に決めて終止符を打った。

近藤にとっては、またとない湯木への挑戦権を得るチャンスだったが、徳田の執拗な粘りの前に屈してしまった。

植野、決定打奪えず

〈湯木VS植野〉

どうしても湯木から1ゲームを奪えぬ植野。クリアー、カットで攻めてはいるが、それが決定打のスマッシュに結びつかない。いや結びつけられないといった方が的を射ているだろう。4—4、5—5、6—6までがやっとで矢が尽きてしまった。ポイントこそ2ゲーム目が上回ったが2—10から湯木の凡ミスに助けられたもので、内容ははるかに前半が良かった。最後のツメにどう導くか。シングルスにも大きな飛躍を期待したい植野である。

徳田、善戦空し

〈湯木VS徳田〉

湯木が国内の試合では珍しくゲームを落した。

試合の長引くのを嫌ってか時折スマッシュを放つがミスが多く、リターンされた球にも動きが重い。徳田は丁寧にミスを待って第1ゲームをモノにした。

しかし2ゲーム目に入ると俄然湯木の動きが変ってきた。自らに気合を入れるように、容赦なく攻めまくり、徳田につけ入るスキを与えずタイに持ち込む。

余裕はあるが好調とはいい切れない湯木は、ファイナルになるとまたミスが多くなる。手痛いカットミスなどで一時は5—7とリードを許すが、やはりここからが正念場、勝ちを意識しだした徳田のサービスミスを足がかりに、クリアーのサイドアウトを誘発させて勝利を握り、6度目の〝女王の座〟についた。

徳田にとっては悔まれるサービスミスだったが、海外遠征の成果か、一時のスランプを完全に脱し、精神的に一回り大きくなって期待に応えた。

徳田を筆頭に、植野、近藤、高田、米倉らの若手シングルス陣の台頭には、ユーバー杯を控えて明るいものが感じられるのは楽観的であろうか。

出場選手の声

湯木博恵選手……国内の試合でファイナルは一年振りですネ。疲れました。自分ではまだまだ余裕があったつもりなので、徳田さんが勝ちを意識してくれて助かったし、それほど苦しいとは思いませんでした。

マルメの世界選手権では、とにかく、優勝をめざして精一杯がんばってきます。

❖　❖　❖

徳田敦子選手……7—8からのサービスミスが痛かった。わたしはなんてアホなんでしょう。その一球だけに悔いが残ります。

マルメでは全英の経験を生かして無我夢中でやってきたいと思っています。

❖　❖

近藤小織選手……勝ちを意識し

すぎてアセリました。
　動きは悪くなかったんですが、早く楽になりたい気持が強くてつい無理して打ってしまうんです。以後気をつけます。
　マルメでは自分の力を出し切りたいと思います。

❋　❋　❋

植野恵美子選手……壁は厚かったです。海外遠征から帰ってまだボケているようで凡ミスが多くて反省しています。
　世界選手権はもう一度、新たな気持ちで臨むつもりです。

❋　❋　❋

栂野尾悦子選手……足が前へ出ませんでした。球のキレも悪かったし、根負けしてしまいました。徳田さんは今度の遠征で精神的に力をつけています。
　世界選手権では全英の真価が問われる番なので、一戦一戦大事に戦ってきたいと思っています。

❋　❋　❋

高田幹子選手……出足の悪い癖が出ました。良いラリーが単発で続きませんでした。体力不足もありますね。
　マルメでは、シングルス、ダブルスとも全英の成績を上回るようがんばってきます。

❋　❋　❋

米倉よし子選手……まだまだ雑なんです。体力をもっとつけなければと感じました。

❋　❋　❋

石川好子選手……アガッてしまいました。湯木さんの球は全部が攻撃で、全然攻められないんです。圧倒されました。
▼なお、第1回世界選手権の壮行も行われ、男女の全メンバーがスタンドに紹介され、大会の合間には男子選手によるダブルスの模範試合もあった。
　男子選手にも抱負を語ってもらいました。

池田信孝選手……組合せを見ると、2回戦でキールストロム、フローマン（スウェーデン）と対戦することがわかったので、この山をなんとか切り抜けて、ベスト4入りをめざしてがんばってきます。

❋　❋　❋

栂野尾昌一選手……体調はいいのでベスト4入りを狙いたいですね。

❋　❋　❋

銭谷欽治選手……3回戦でデルフス（デンマーク）と当たるんですが、相手は全英チャンピオンなんだし、思い切ってぶつかってみたい。

❋　❋　❋

土田証雄選手……シングルスももちろんですが、銭谷さんと組むダブルスも初コンビなので一生懸命やってきます。



一瞬ヒヤリとしただけに喜びも一層……湯木

「おめでとう」祝勝会

全英シングルスに４度目の優勝

湯木　博恵

さん

4度目の全英選手権女子シングルス制覇を祝って、ホテルグランドパレスにおいて4月18日、華やかに祝勝会が行われた。

〝テニスの女王〟沢松和子さんから花束の贈呈があったあと、良き先輩として、良きライバルとして常に湯木博恵選手をリードした中山紀子さんから「ジュディ・ハッシュマンの9回優勝に挑戦してください」と激励があり、湯木さんの目にキラリと光るものが見られる一幕もあった。

「生涯のパートナーを早く見つけて、今度は結婚式を!!」と各方面から声がかかり、湯木さん喜んだり、涙ぐんだり、テレたりの一日だった。



両親もこの盛大な祝勝会に声が弾みます




〝女王〟を囲んで、左から中山紀子さん、本田会長、森友副会長

二題「おめでとう」

記念すべき第1回世界選手権制覇

栂野尾悦子さん
植野恵美子さん

第1回世界選手権大会、女子ダブルスの快挙を祝って5月18日、東京・ホテルグランドパレスで盛大に祝勝会が開かれた。

協会役員、バドミントン関係者が次々に祝辞を述べる中、かつての栂野尾悦子選手のパートナー相沢マチ子さんも姿をみせ「栂野尾さんもまだまだ若いですから、これからも頑張ってください」と祝福。栂野尾悦子さんのご両親、政雄さん・松枝さんも「全英に続いて第1回の世界選手権に優勝できるなんて、こんなに嬉しいことはありません。これもまわりの方々の暖かいご支援によるものと、心から喜んでおります」と喜びを語っていた。



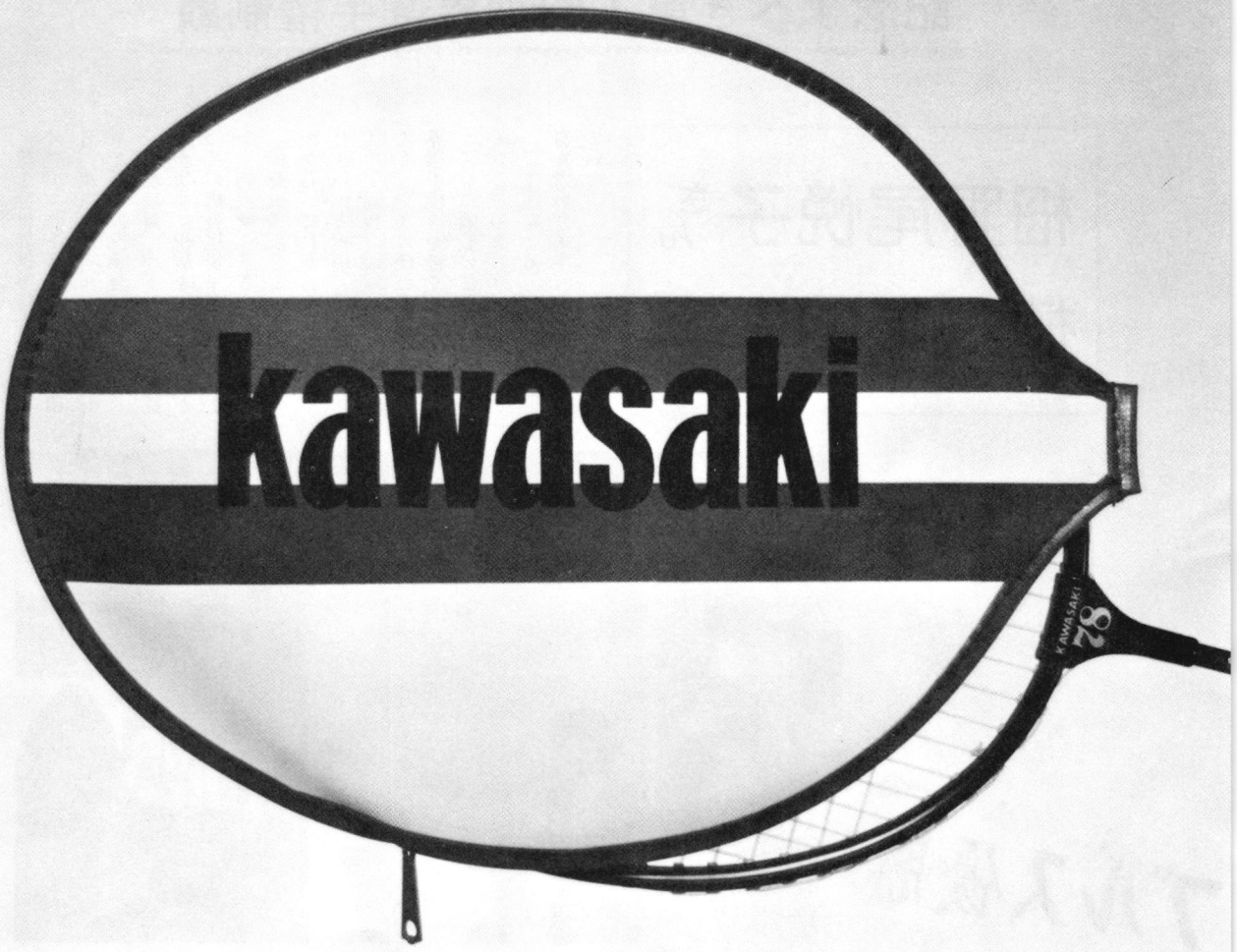
本田会長のユーモラスな祝辞に、緊張気味の二人も思わ


「ウィニング・ラケット」を受け取って感激がよみがえる


相沢マチ子さんに「まだまだお若い栂野尾さん」と……？

カワサキラケット
河崎ラケット工業株式会社

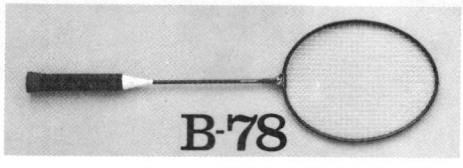
ドラマが始まる。



世界が燃える。

イギリス、デンマーク、インドネシア…
世界のコートで実力を発揮し、活躍するカワサキ。
数々の勝利のドラマを生み、
トッププレーヤに注目され続けています。

アルミ、クロームモリブデン、アルミ合金ダイカストを採用。
それぞれの特性を充分いかした軽く、弾力性豊かな新製品です。



No.B-78/セブンエイト/モスグリーン(アルミフレーム)
フレーム価格6,000円(ケース付)

全英バドミントン選手権大会
混合ダブルス詳報

先月号で、第67回全英選手権大会の記録の主なものをお届けしましたが、未報告の混合ダブルスの結果をここにお届けいたします。

わが国もようやく混合ダブルスの〝市民権〟を得たが、まだまだ世界のカベは厚く、今大会では、混合ダブルスにエントリーしなかった。

上位はやはり、イギリス勢が占め、ベスト4のうち3組までを独占した。優勝候補の一角をなしていたスウェン・プリ、ウラ・ストランド組（デンマーク）はエロ・ハンセン（デンマーク）ヨーケ・バンビューセコム（オランダ）組に1回戦で一方的に敗れるという波乱があった。

▽1回戦

E・ハンセン（D）J・V・ビューセコム（H）2（15―0、15―4）0S・プリ、U・ストランド（D）

N・ペシェクホノフ、I・シームニュータ（U）2（18―15、15―8）0P・E・バリヴァン、S・ワイタッカー（E）

J・ピュー、V・S・ローワン（E）2（15―11、15―10）0P・ニールセン、S・ベーグ（D）

L・ウェンベルグ、A・ボルジェッソン（S）2（11―15、15―13、15―7）1D・R・ハント（E）I・ゲルラッカ（G）

E・H・サットン、J・A・ウェブスター（E）（不戦勝）A・チャンドラ、T・ウィディアスタティ（I）

R・F・ロフェ、P・E・ウェトナール（E）2（15―12、14―17、15―12）1J・アンザリア、J・フロックハート（SC）

C・ボルテール、H・デコート（H）2（18―15、11―15、15―9）1M・シュナーゼ、E・クランツ（G）

B・R・パーサー（NZ）、A・M・ポールマー（E）2（15―7、8―15、15―11）1P・G・クーパー、S・ディリー（A）

G・A・コナー、M・ロックウッド（E）2（5―15、15―9、15―10）1B・ニールセン、S・ハンセン（D）

W・キッド、A・E・スタット（E）2（15―11、17―14）0S・フラッドベリ、P・ニールセン（D）

P・バリヴァン、B・M・ウォルシュ（E）2（15―11、15―4）0G・ハンセン、L・ボストフ（D）

J・ヘレディ、B・カウフマン（D）（不戦勝）クリスチャン、R・マスリ（I）

W・ボショウ、I・モルシュ（G）2（15―12、6―15、15―6）0R・J・シャープ、R・ゴア（E）

R・リダー、M・リダー（H）（不戦勝）V・シューチキン、S・ベリアゾフ（U）

F・D・ガウ、C・スチュアート（SC）2（15―10、10―15、15―7）1T・B・ストークス、C・エイブラム（E）

M・G・トレジェット、N・C・ペリー（E）2（15―4、15―5）0P・B・ブリッジ、P・A・スマイルズ（E）

▽2回戦

D・タルボット、G・M・ギルクス（E）2（15―13、15―8）0M・J・ウィルクス、K・レッドヘッド（E）

M・ネアガード、I・ボルクストロム（D）2（15―3、15―4）0O・エリクソン（S）W・クラークソン（C）

R・マイバルト、B・ステデン（G）2（14―17、15―10、15―7）1C・A・マーティン、S・E・コーツ（E）

C・ランドベリ、K・リンクイスト（S）2（10―15、15―3、15―12）1P・R・エンブテージ、V・ウェストウッド（E）

ハンセン・ビューセコム2（15―3、15―4）0ペシェクホノフ・シーメニュイタ

ウェンベルグ・ボルジェッソン2（15―11、15―11）0ピュー・ローワン

サットン・ウェブスター2（15―8、17―14）0ロフェ、ウェトナール

パーサー・ポールマー2（15―6、15―7）0ボルテール、デコート

キッド・スタット2（8―15、15―5、15―12）1コナー・ロックウッド

バリヴァン・ウォルシュ2（15―6、18―15）0ヘレディ・カウフマン

リダー・リダー2（15―3、15―11）0ボショウ・モルシュ

トレジェット・ペリー2（15―5、15―2）0ガウ・スチュアート

J・コッカー、B・クーパー（E）2（9―15、15―6、15―10）0W・ブラウン、E・ウェーバー（G）

J・D・エディ、B・ジャイルズ（E）2（15―12、15―12）0K・R・ジョリー、K・S・ブリッジ（E）

C・ノーディン、E・スチュアート（S）2（15―8、15―5）0T・A・グード、B・ウェルチ（C）

S・スコブガード、L・コーペン（D）2（15―3、15―10）0G・ハミルトン（SC）K・ホワイティング（E）

▽3回戦

タルボット・ギルクス2（15―7、15―8）0ネアガード・ボルグストローム

マイバルト・ステデン2（13―15、15―11、15―6）1ランドベリ・リンクイスト

ハンセン・ビューセコム2（11―15、15―9、15―9）1ウェンベルグ・ボルジェッソン

サットン・ウェブスター2（15―5、15―7）0パーサー・ポールマー

キッド・スタット2（18―17、15―4）0バリヴァン・ウォルシュ

トレジェット・ペリー2（15―8、17―15）0リダー・リダー

エディ・ジャイルズ2（15―8、15―10）0コッカー・クーパー

スコブガード・コーペン2（15―5、15―8）0ノーディン・スチュアート

（13ページ下段へ続く）

日英対抗＝トーキー・ワルゾール・ニューキャッスル・プレストン

効率的運営で親善を強める

同行役員
遠井稔男

今年の日英大会は大成功裏に終了した。英国バドミントン協会はエリザベス二世即位25周年記念行事の一環として今大会を開催したので、力の入れようも格別であった。各会場とも非常に盛会で、シーソーゲームが数多く展開され、満員の観衆を魅了した。

会場への移動はバスツアー一七〇〇キロメートルに及び、旅の一座を思わせた。バスは英国協会副会長ピーター夫妻を初めとして、総務担当のトム、選手係兼監督のロックウッド、シャトル係のマトロックの各氏、英国選手、そして日本選手団と総勢30名が常に同乗していた。

バスの中は明るい音楽や歌声が流れ、楽しい会話があり和気あいあい両国のバドミントン技術の交流と親善に大きな役割を果たした。バスは特別仕立てで右片方の座席半分を取り除き、そこの部分にコートマットや大会用具などを積んでいた。会場の設営はすべて統一されており、特に客席は組立座席（二五〇〇席）で作り、それをプレストンを除いてはトラックに積んで移動して回った。試合も午後6時から11時頃まで、プログラムも統一され大会運営の一本化など非常に合理的・能率的であった。

▼トーキー大会

第1戦はロンドンから南下すること三二〇キロ、海岸線の美しい英国一の避暑地トーキー、その市で一番古いパレスホテルの体育館で3月29日午後6時30分、簡単な開会式から始まった。試合は女子単の湯木対ロックウッドで開始され、湯木はファイナルのセッティング9—12で惜敗。全英の疲れあり。続く単で銭谷と近藤が、複で飯野・土田が勝って3—1とリードしたが、残り3試合を失い、3対4で初戦を飾ることができなかったのは残念であったし、後の試合に尾を引いた。

▼ワルゾール大会

第2戦はトーキーから北上すること三五八キロ、バーミンガム（世界卓球大会開催中）に隣接する市であった。市内の高校の体育館で4月1日午後6時15分、男子単飯野対スティーブンスで開始された。

飯野は攻め勝ち、徳田がギルクスをゆさぶって勝ったまではよかったが、後続なく2対5で第2戦目は惨敗であった。

▼ニューキャッスル大会

第3戦はワルゾールから北西に四五〇キロ、市内でも大きな総合レクリエーションセンターで4月4日午後6時30分、女子単湯木対ロックウッドで開始した。テレビがあるとのことで、英国側から強い要望がありこの再戦となった。湯木は、第2ゲーム、セッティング12—10でとり1対1とした。ファイナルゲームは速いロングとドロップを一方的に決め、攻め勝って対戦成績をタイとした。尾崎・銭谷が複をとったものの第2戦同様2対5と敗れた。選手がバテ気味であった。

▼プレストン大会

第4戦はニューキャッスルから南下し、東へ二四六キロ前回の大会に続いて二度目の開催であった。ギルドホールは文化・娯楽の市民センター的施設の整った素晴らしい会場であった。

最終戦にふさわしく好ゲームが展開され、試合が終了したのは12時を過ぎていたが、三五〇〇人の観衆は一人として立つ者がなかった。

緒戦は女子単三度目の対戦となった湯木対ロックウッドである。両選手決着をつけたいと初めから打合いの激しいものであった。ファイナルゲーム8—8からロックウッドの執念勝ちであった。銭谷対タルボットの試合も迫力のある攻めと守りの好ゲームであった。銭谷がこの試合くらい安定していたら全英ベスト8も可能だったが。近藤がギルクスにとられ、高田・徳田が我慢勝ち。飯野・土田が速いテンポで攻め勝った。続く梅野尾・植野は全英後乱調から脱しきれず、最終戦を何とか勝ち星でと必死になったが、攻守をロックウッドにとられ、ファイナルで敗れた。

これも第1戦同様に3対3の池田・梅野尾の決戦決着となった。ベストでないだけに心配したが、第1ゲーム17—18で取られ第2ゲーム15—6で取り、ファイナルにもち込み、シーソーゲームの12—12から一気に勝負して貴重な一勝をあげた。長い長いゲームであり、一番印象に残るゲームでもあった。ベテランより若手の勝率がよかった。

結果は28試合中17対11で敗れ、日本チーム11勝中男子が7勝、女子4勝、若手が男子で9勝をあげ、若手の著しい成長に今後期待したい。ご声援をいただきありがとうございました。

◆第1戦・トーキー大会

日本 3 単 2—1 複 1—3 4 イギリス
湯木 1 11—7 1—11 9—12 2 ロックウッド

◆第2戦・ワルゾール大会

| | | |

読者と編集者



いまこそPRを

全英選手権大会での単複制覇、そして世界選手権における複優勝、単上位進出という日本女子の大活躍の報に接し、一ファンとして非常にうれしく思っています。世界一になったのですから、もっと新聞やテレビで大々的に取り上げられてほしいものです。しかし、一歩一歩着実に進んでいけば、必ずバドミントン競技も一般の人々の中に浸透していくはずです。編集部の皆様の活躍をお祈りしています。

（新潟県・山中里見・19歳）

◆全英につづく世界制覇は絶好のチャンスだと思います。編集部一同、これをきっかけにさらにバドミントンを発展させるようがんばります。

4月号がほしい

私はママさんクラブというほどしっかりしたものではありませんが、近くの奥さん方と小学校の体育館を借りてバドミントンを楽しんでいるものです。4月号を近くのラケット店で見て、ママさんの記事が出ていたので早速買い求めました。今までも大会の時に、気に入った号を買っていましたが、今回はママさんがたくさんのっているので、うれしく思いました。これを見た仲間の奥さんたちもぜひほしいというので、ラケット店に足を運んだのですが、もう品切れで手に入らないとのことでガッカリしています。5～6冊でけっこうなのですが、在庫はありませんでしょうか。

（横浜市・高橋道子・34歳）

◆4月号は、チャンピオンズトーナメントの会場でも、すぐに売り切れてしまい、また仲介してくださっている各メーカーのお店などでもすでに売り切れてしまいました。ところが、高橋さんと同じご要望の方が非常に多くいらっしゃいますので、今回とくに増刷いたしました。5月末から順に各地に配布してありますので、もう一度そのお店までおでかけください。

カレンダーはもっと早く

毎年カレンダーをお送りいただいていますが、いつも年が変わってからで遅すぎるのが難点です。秋になれば発行して早すぎるということはないと思います。今年はぜひ早めに作ってください。友達にもすすめたいし、外国のペンフレンドにも送りたいのです。

（山形県・須藤光夫・16歳）

◆今年は夏までに原稿を整理し、9月には予約をお受けできるように準備します。登場する選手は未定ですが、今年は海外のすぐれたプレーヤーも収録するつもりです。たとえば全英選手権、世界選手権で大活躍のスヴェン・プリ選手、フレミング・デルフス選手、マーガレット・ロックウッド選手などです。

スッキリした表紙

4月号を見てビックリした。今までと全然感じが違って、センスもいいし、記事も〝それほど〟遅れていなかった。今までの表紙はただ写真を入れただけで、いかにシロウトくさかったが、今度のはなかなかいい。やはりプロのデザイナーに頼んだのかな。表紙だけよくなって中身はダメ、というんじゃ困るので、ぜひがんばってほしい。

（東京都・松井徹・23歳）

◆どうもありがとうございます。表紙については、他の読者の方々からもたくさんおハガキをいただきました。皆さん喜んでくださったのでホッとしています。デザイナーは野間義剛さんという、一流のグラフィックデザイナーです。書籍や雑誌のデザインを専門にしているバリバリの方です。



うまく写真をとりたい

毎号毎号すばらしい写真と楽しい記事を心待ちにしている一読者です。私も趣味で撮影をしていますが、なかなかうまくとれません。やはりプロのように高いカメラとアクセサリーをそろえないとムリなのでしょうか。

（東京都・大島喜和・18歳）

◆編集部もまだまだ未熟で、とても教える立場ではありませんが、ヒントをお話ししましょう。まずレンズの明るさはF2はほしいのですが、望遠レンズの場合はもっと暗いものになるのもやむをえません。あまり長いものは必要ありませんが、望遠レンズはぜひ一本そろえましょう。そしてシャッター速度を速くし、いっぱいに絞りを開いたほうが絵がしまってきます。シャッターを切るときは、静かに押します。スマッシュの瞬間などは、ついあわてて力いっぱい押してしまいますので注意しましょう。シャッターチャンスはひと呼吸前です。打った瞬間ではなく、打つ直前に押すようにします。また夢中でとっていると、思いがけずネットのポールや線審の人が絵を占領していることがありますので、全体の構図もときどき見直します。

そして何よりも〝習うより慣れろ!!〟です。高いカメラにモータードライブやワインダーをつけるよりも、練習中など、ふだんから数多くとるようにしましょう。

また街の写真屋さんでも、うまく撮せば4倍くらいまで増感現像をしてくれるところがあります。つまりASA400のコダックトライXを使えば、ASA1600という高感度で撮影できるわけです。

傑作ができたらぜひ編集部に送ってください。

▼今回採用させていただいた皆様には記念としてヨネックススポーツ提供のミニバッグをお送りいたしましたので、どうぞご愛用ください。

せまる第27回全日本実業団バドミントン選手権大会＝大阪・京都

連覇をねらう電電東京、サントリー

個人は銭谷と湯木が最有力

新人ふくめ160チーム、1500余名が参加・熱戦

いよいよ6月17日から6日間にわたって、第27回全日本実業団バドミントン選手権大会が、大阪・京都で開催されます。本大会は、今年度最初の全国大会であり、各チーム・選手ともさい先よいスタートを切ろうと十分なトレーニングを積んでおります。

全英選手権、世界選手権で輝かしい戦績を収めた、栂野尾悦子（ヨネックススポーツ）、湯木博恵（河崎ラケット）の両選手をはじめ、昨年すい星のように現われて優勝をさらったサントリー女子チームも元気です。男子も銭谷（河崎ラケット）土田（電電東京）の全日本ナンバー1、ナンバー2をはじめ、新人の中井（河崎ラケット）辻（ヨネックススポーツ）ら、好成績をあげんものと、熱戦をくり広げることと思います。

京阪地区のバドミントンファンの皆様は、どうぞふるってご観戦ください。まのあたりに、この団体戦～個人戦の熾烈な戦いは、全日本の名にふさわしいものとなるでしょう。

また、どうしても会場に足を運べない人々はぜひテレビ放映をご覧ください。

大会の概要、各試合の予想は次のとおりですので、ご参照ください。

1 主催 日本バドミントン協会・日本実業団バドミントン連盟

2 後援 労働省、大阪府、京都府、大阪市、京都市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、京都府教育委員会、京都市教育委員会、近畿バドミントン協会、朝日新聞社、京都新聞社、㈱近畿放送（申請中）

3 主管 大阪府バドミントン協会、大阪府実業団バドミントン連盟、京都府バドミントン協会、京都府実業団バドミントン連盟

4 開催地 大阪市、枚方市、京都市

5 会場 大阪市中央体育館、大阪市立東淀川体育館、松下電器体育館（牧方市）、京都府立体育館、京都市立体育館

6 種目 (1)男子団体対抗（2複、3単）(2)女子団体対抗（2複、3単）(3)一般男子単（年令制限なし）(4)一般男子複（年令制限なし）(5)一般女子単（年令制限なし）(6)一般女子複（年令制限なし）(7)30才以上男子単 (8)30才以上男子複 (9)40才以上男子単 (10)40才以上男子複 (11)混合複

7 参加数 チーム数 約一六〇、人員 約一五〇〇名

8 大会日程 大会第1日 昭和52年6月17日(金)

14：30 監督会議 国民会館（大阪・大手前）

17：00 開会式 国民会館（大阪・大手前）

〈団体戦〉

大会第2日 昭和52年6月18日(土)

9：00 競技開始

男子団体 1回戦～4回戦……大阪中央体育館

1回戦～4回戦……松下電器体育館

女子団体 1回戦～準々決勝……大阪東淀川体育館

大会第3日 昭和52年6月19日(日)

9：00……競技開始 会場：大阪中央体育館

9：00～11：00 男子団体準々決勝、女子団体準決勝

11：30～13：30 男子団体準決勝

13：30～15：30 女子団体決勝

14：00～16：00 男子団体決勝

テレビ放映 14：00～15：50

東京12CH―岐阜TV―三重TV―近畿TV―サンTV―TV和歌山―TV新広島

〈個人戦〉 各日とも9時競技開始

大会第4日 6月20日(月)

▼京都府立体育館（大将軍）

一般男子複1回戦～準々決勝、一般男子単1回戦～2回戦

▼京都市体育館（西京極）
一般女子複1回戦～準々決勝、30才以上男子複1回戦～準決勝、40才以上男子複1回戦～決勝
大会第5日・6月21日(火)
▼京都府立体育館
一般男子単3回戦～準々決勝、一般女子単1回戦～準々決勝、混合複1回戦～準々決勝
▼京都市体育館
30才以上男子単1回戦～準決勝、40才以上男子複1回戦～決勝、一般男子単3回戦～準々決勝
大会第6日・6月22日(水)
▼京都府立体育館
一般男子単・複準決勝～決勝、一般女子単準決勝～決勝、30才以上男子単・複決勝、混合複準決勝～決勝
●注・大会スケジュールは組合せ後若干の修正があることもある。

9予想

9・1　男子団体の部

ベスト4に進出が予想されるチームは、電電東京（昨年優勝）、高岡市役所（昨年準優勝）、河崎ラケット、ヨネックスがあげられる。これに続くチームは、地元大阪のスワロー化研、電電近畿、トヨタ自工、関東自工、電電北海道と思われる。

2連覇と通算5回目の優勝を狙う電電東京は、ダブルスの名手池田を中心に団体戦に滅法強い尾崎、またシングルスに進境著しい土田とスタミナのある田所の布陣で、決勝進出はまず確実であろう。

また準決勝で対戦が予想されるヨネックスは、梅野尾、飯野に新人辻（奈良添上高―法政大）を加え、西村（元関西学生単1位）大場と駒が豊富であるので、オーダー次第では一波乱ありそうである。

一方反対側のゾーンでは、準決勝で北陸の雄高岡市役所と河崎ラケットの対戦が予想される。

今泉、牧野、米沢を中心としたこのチームは、ダブルスに強力なものがある。また河崎ラケットは、シングルスに絶対的な強さを誇る銭谷（昨年男子単優勝）、ダブルスの学生チャンピオンである新人中井（奈良正強高―法政大）を加え、堺、平井、斎藤の陣容は一段と戦力を増している。高岡市役所はシングルスに、河崎ラケットはダブルスに弱点があると思われるだけに面白い試合となろう。

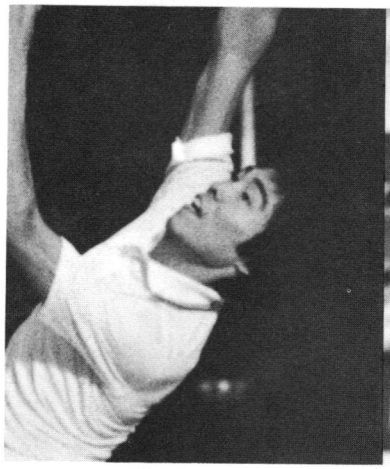
四強の一角を崩すと予想されるチームは、本間、谷口を擁するトヨタ自工、笠井のいる関東自工、遠藤が頑張る電電北海道と、地元の開催で一段と熱の入っているスワロー化研、電電近畿と思うが……。いずれにしても全体的にバランスのとれている電電東京の2連覇が濃厚だろう。

9・2　女子団体の部

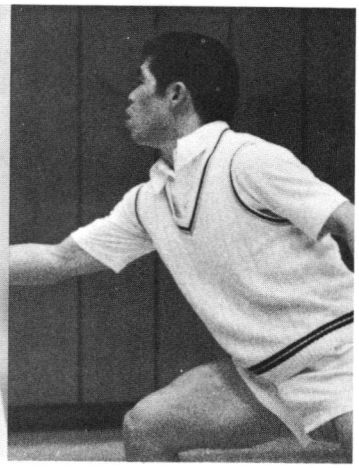
昨年はチーム結成3ヵ月にして初出場、初優勝の偉業を成しとげたサントリーは、徳田、秋本姉妹、西尾、谷ともに油が乗り切っており、また学生チャンピオンの高田の加入があってチームはより充実している。

準決勝で対戦が予想される電電東京は、池田、今田を中心にまとまりはあるが、目立った補強もなく、苦しいと思われる。

（29ページに続く）


銭谷欽治


徳田敦子


池田信孝

carlton

New Badminton Racket



●PHOTO カーボニック・ブラック

●PHOTO ニュートーナメント



威力壮烈!

20世紀最後の素材といわれる理想の繊維カーボン。繊維に対して直角の方向に、驚ろくべき強さをもち●たわみに富む●するどい弾性とすばやい反発力を生む●しかも耐久性に強い……という最高の条件を備えています。

metro

総発売元 メトロレジャー株式会社 〒101東京都千代田区外神田5－6－4 ☎(03)833－3661(代)

1977年:
バドミントンに
革命!

わずか15g しかないカーボン・スチール・シャフトがバドミントンの常識をすべて覆しました。驚異的なシャフトの弾性とすばらしいバランスでシャトルコックを自由自在にコントロールします。打った瞬間、その違いがはっきりと手に伝わります。今、プレヤー達に絶賛の声を浴びてカールトン＆メトロの技術が勝利を手中におさめました。

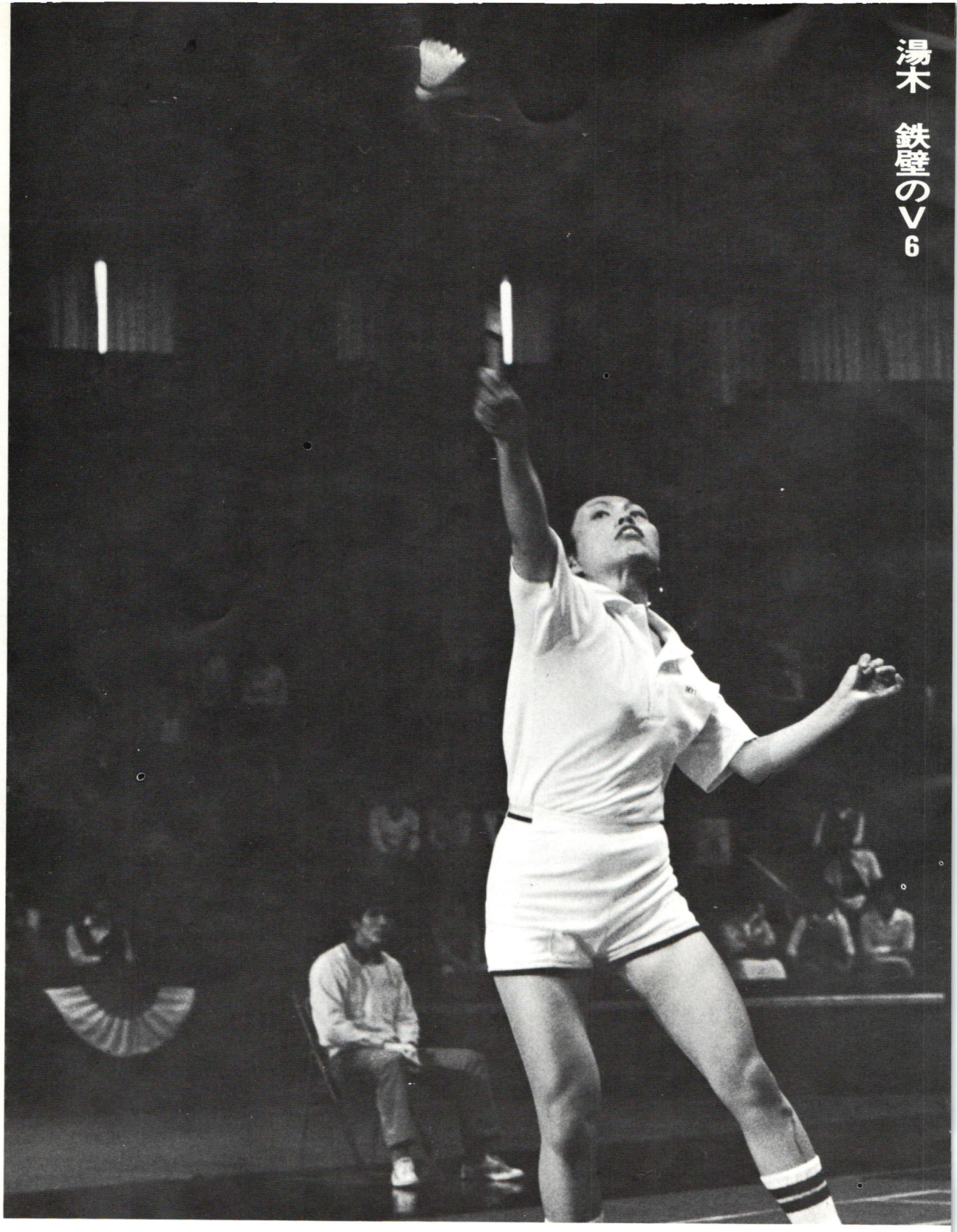
カーボニック シリーズ

新発売

話題騒然、カーボンでこの価格!



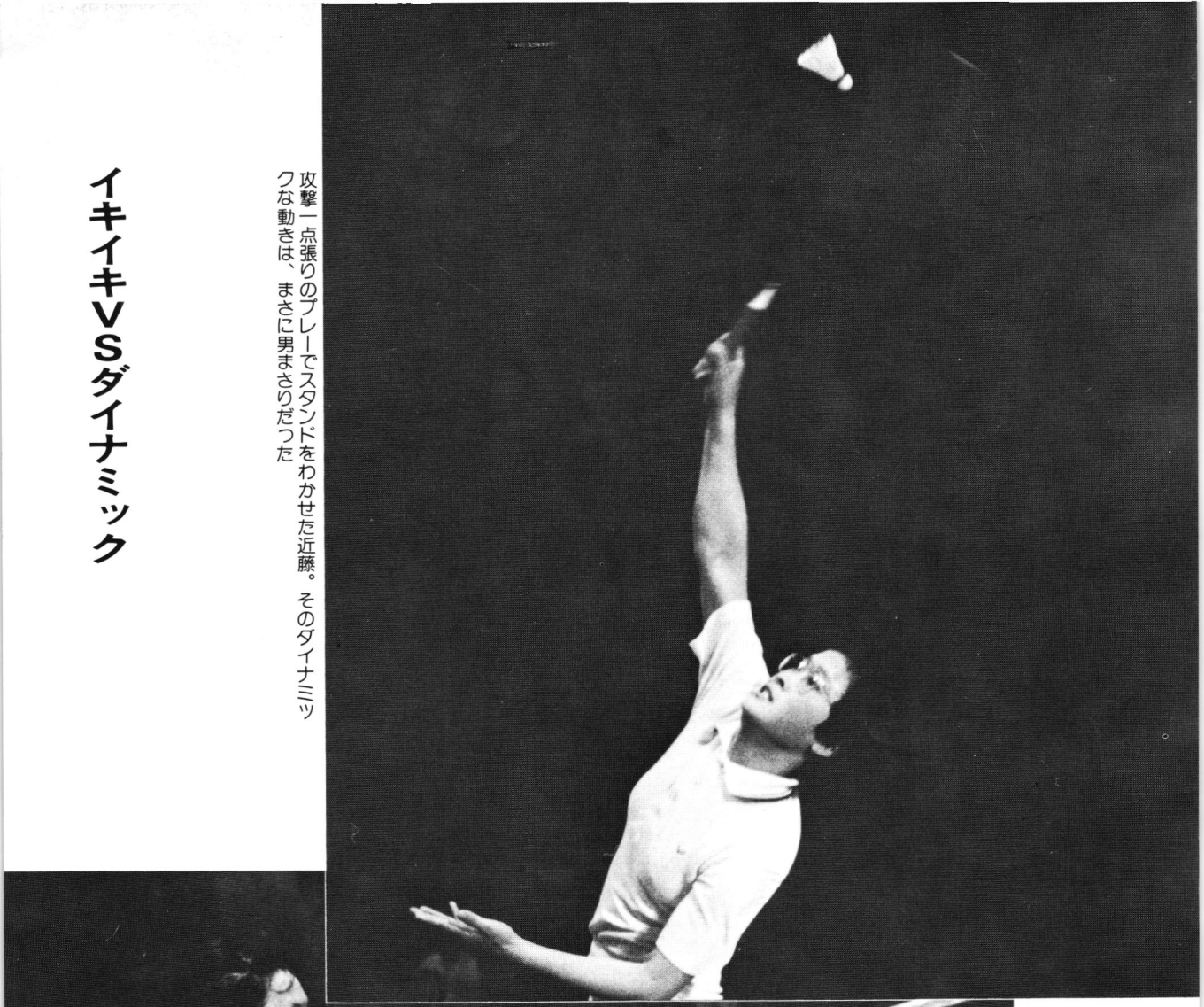
総発売元 メトロレジャー株式会社
〒101東京都千代田区外神田5－6－4 ☎(03)833－3661(代)

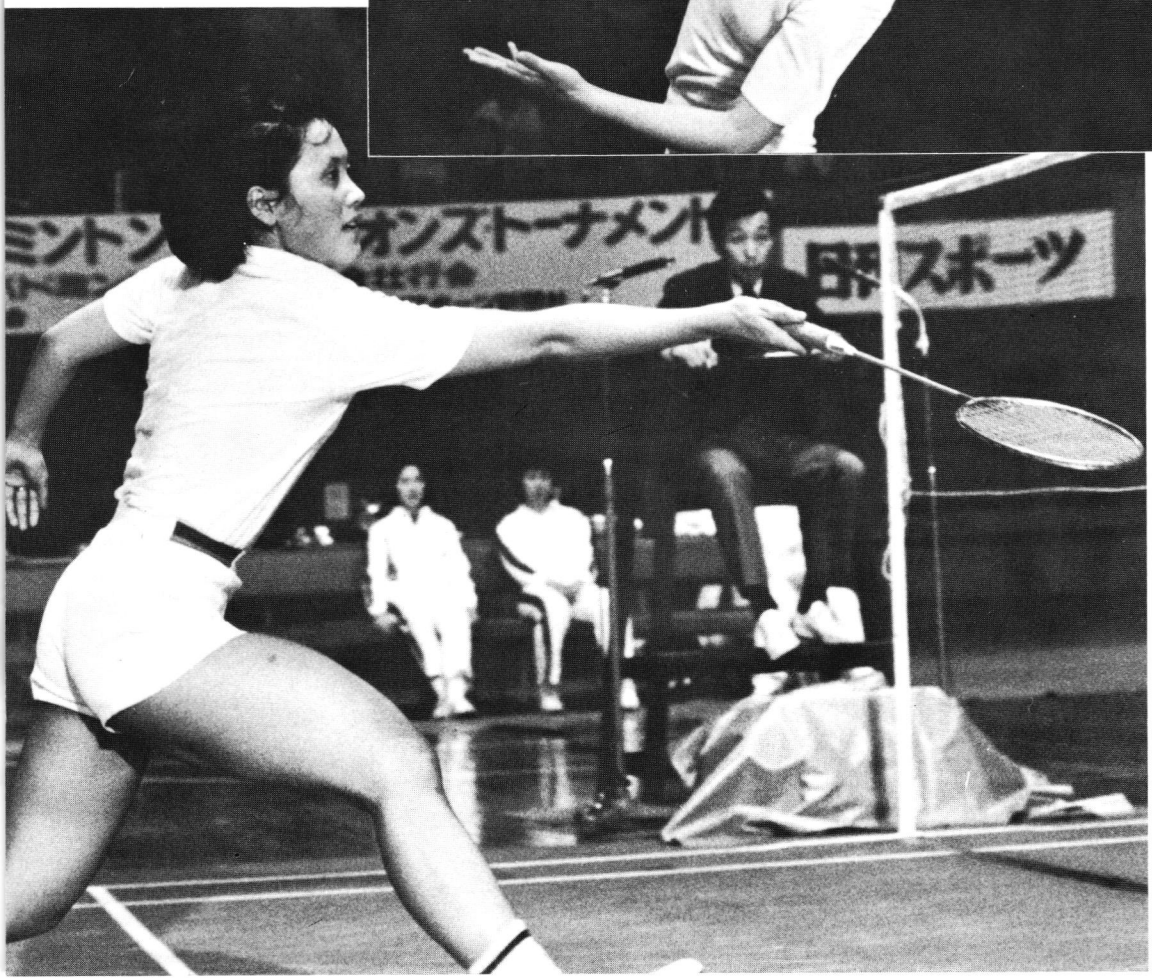


〝女王〟のヒザから血が流れて，苦戦の跡を物語っています

イキイキVSダイナミック

攻撃一点張りのプレーでスタンドをわかせた近藤。そのダイナミックな動きは、まさに男まさりだった

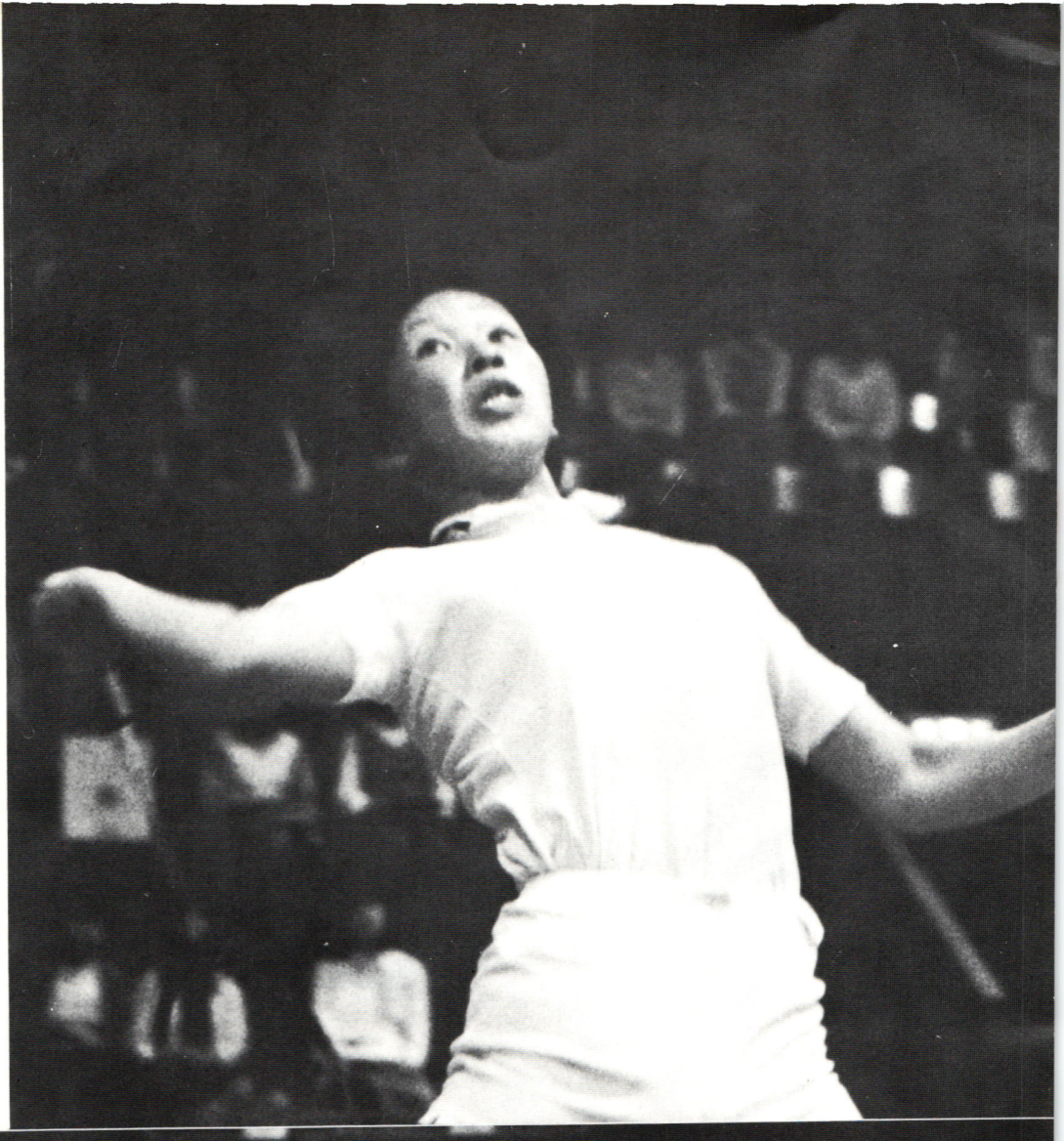




長いスランプから脱出して、海外遠征の成果を現わした徳田。この〝イキイキ〟した表情をごらんください。

上位進出はならなかったが…

学生のホープ米倉。キビキビしたプレーに素質の良さがうかがえる



この日の高田は体のキレが悪く、せっかくの勝機をフイにした





ON RACKET

TW

das®

®

adidas お求めはこの看板のお店で

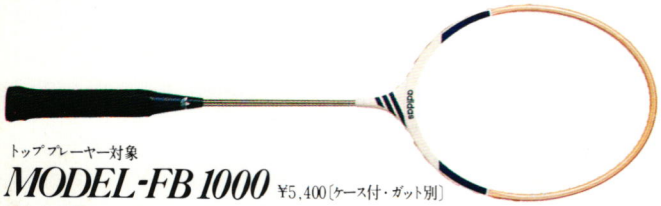
製造業者 KG 兼松江商株式会社 発売元 KSG 兼松スポーツ用品株式会社 〒532 大阪市淀川区木川東2-5-3 ☎06-305-1431 〒101 東京都千代田区内神田1-11-13(橋本ビル) ☎03-295-5611

バランスの良さ。なじむグリップ。この軽さ。
デビューが待たれたadidas®の1本1本。

スポーツシューズを始め、スポーティンググッズの幅広い分野で今や世界を独走するadidas®。そのスポーツを知りぬいたadidas®から、いよいよ、バドミントンラケットが待望久しいデビューです。素材の持ち味をくまなく生かした各パーツ。バドミントンを徹底科学した機能的なフォーム。もちろん一流プレーヤーの『ここをこうしたい』という熱望をすみずみに取り入れての登場です。パワーとテクニックを見事に両立させた最新鋭の1本1本。いち早く馴染むのがライバルを泣かせる秘訣。

BADMINT

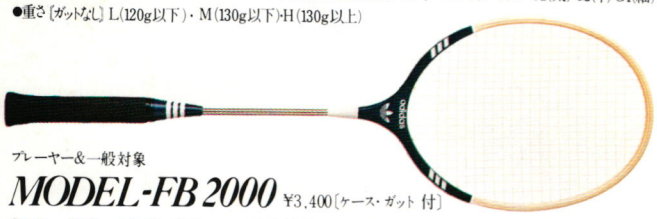
NE



トッププレーヤー対象

MODEL-FB 1000 ¥5,400〔ケース付・ガット別〕

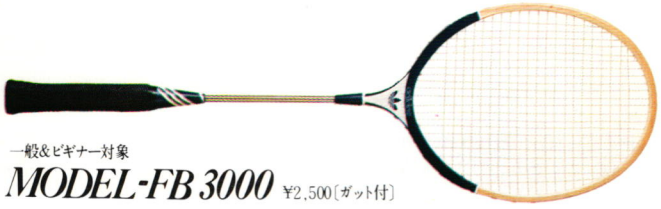
⊙テーパードシャフト 先細・手元太でロングなシャフト。思いきり振りきれ、素晴しい球離れが特長です。⊙フレーム 柔軟性と剛性をあわせもった合板フレーム。ガットが張りやすく、同時にガット張りによる変形がないのが決め手です。素材は特に厳選された高級木質材。⊙グリップ 手にしっくりと馴染む高級牛皮グリップ。 ●グリップサイズ G2(太)・G3(中)・G4(細) ●重さ〔ガットなし〕L(120g以下)・M(130g以下)・H(130g以上)



プレーヤー&一般対象

MODEL-FB 2000 ¥3,400〔ケース・ガット 付〕

⊙ストレートスティールシャフト ⊙フレーム やはり強度と柔かさを兼ねそなえた合板フレーム。吟味された高級材質の堅さがラケットの変形を防ぎます ⊙グリップ 牛皮を使用し触感、密着感に優れています。● グリップサイズ G3のみ ●重さMのみ



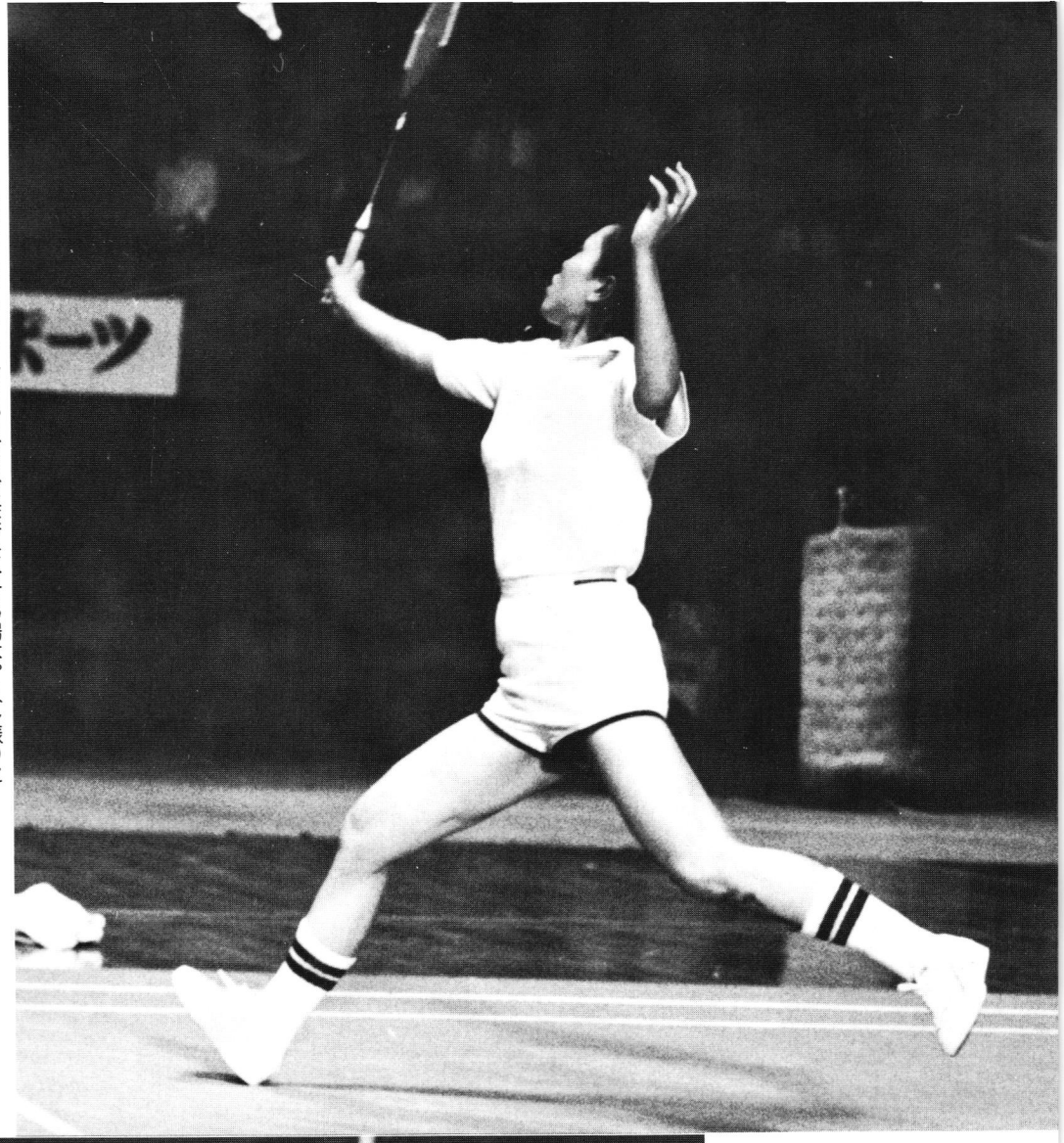
一般&ビギナー対象

MODEL-FB 3000 ¥2,500〔ガット付〕

⊙ストレートスティールシャフト ⊙フレーム 丹念にセレクトされた木質素材の合板フレームで強度を確保しました。⊙グリップ グリップには手に馴染みの良い牛皮を使用 ● グリップサイズG3のみ ●重さMのみ

adi

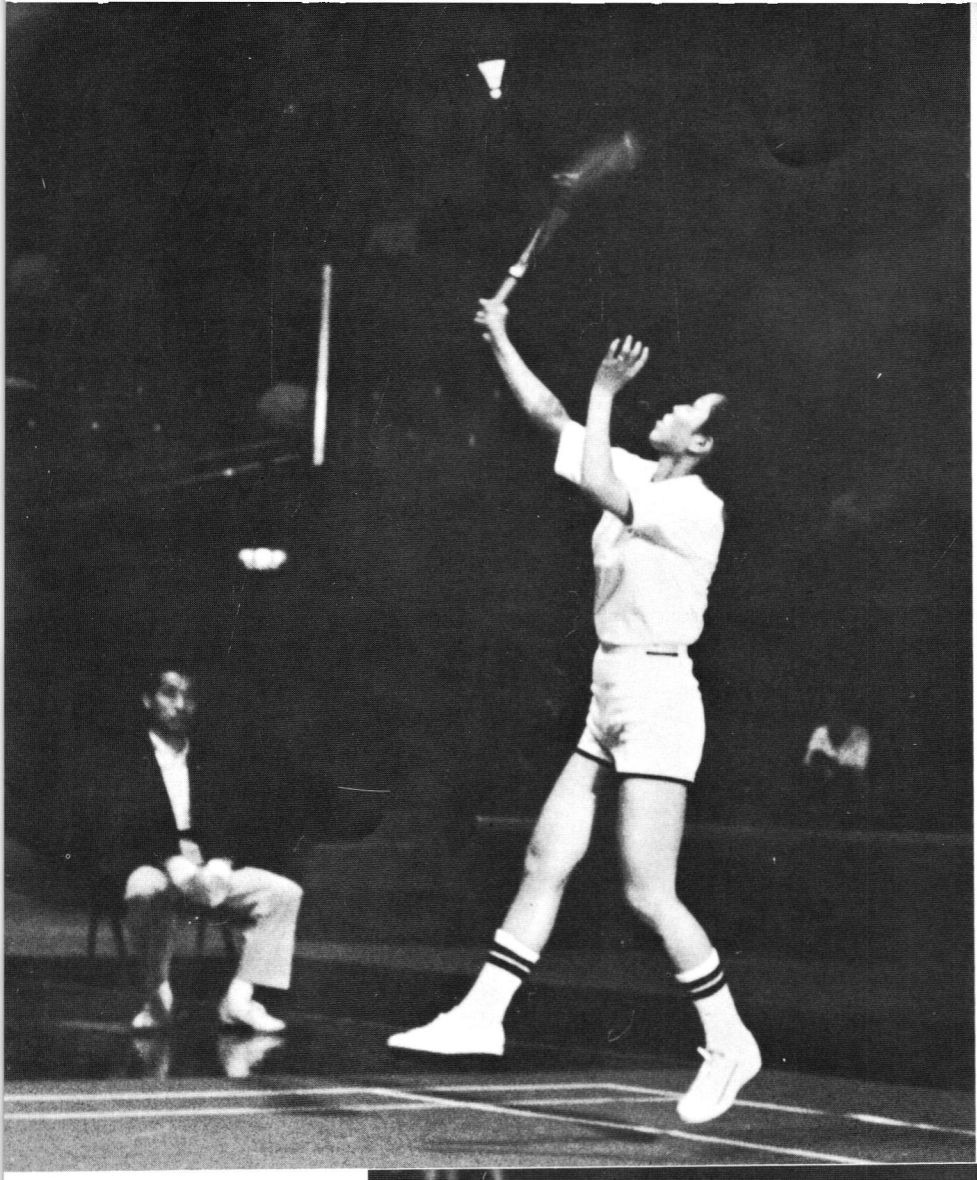
MADE UNDER ADIDAS LICENSE



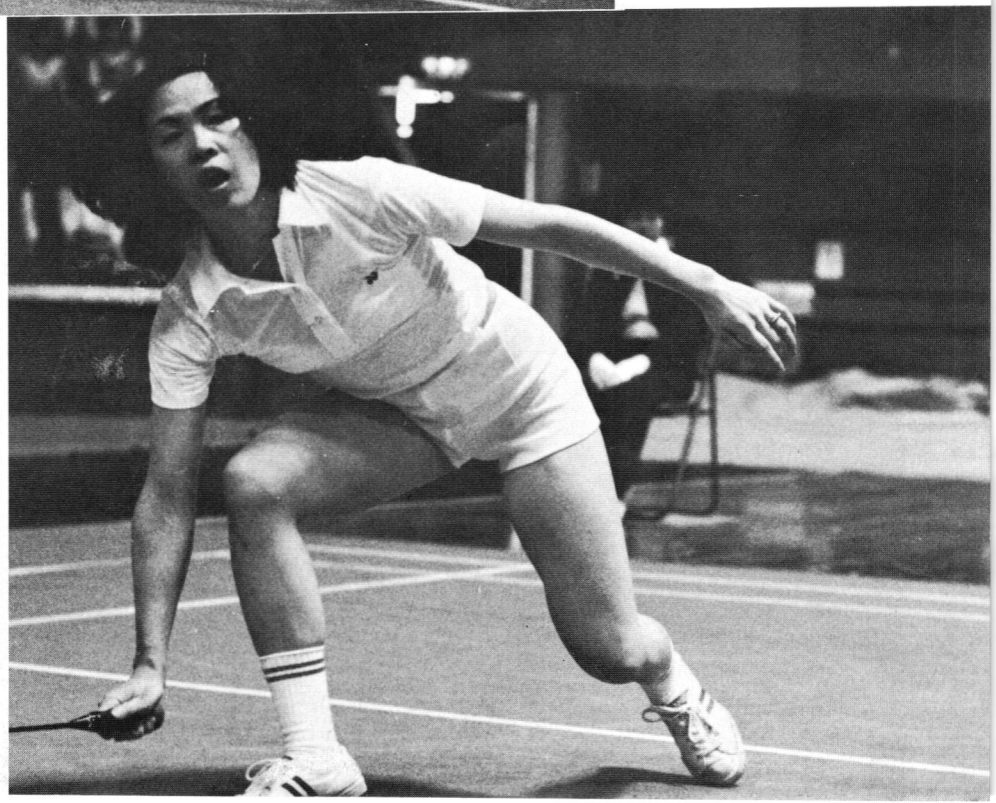
二年ぶりのファイナルにもまだまだ余裕をみせる湯木。久し振りに攻撃的なプレーをみせてくれた



実力を出せずに終ってしまった石川。この経験を次のチャンスにどう生かすか



不十分なコンディションにもかかわらず、終始マイペースをくずさなかったところは、さすが〝女王〟湯木である



シングルスの練習不足がはっきり出てしまった柏野尾。徳田の〝シツコツコサ〟にマイッタ

〝シツコサ〟にまいった

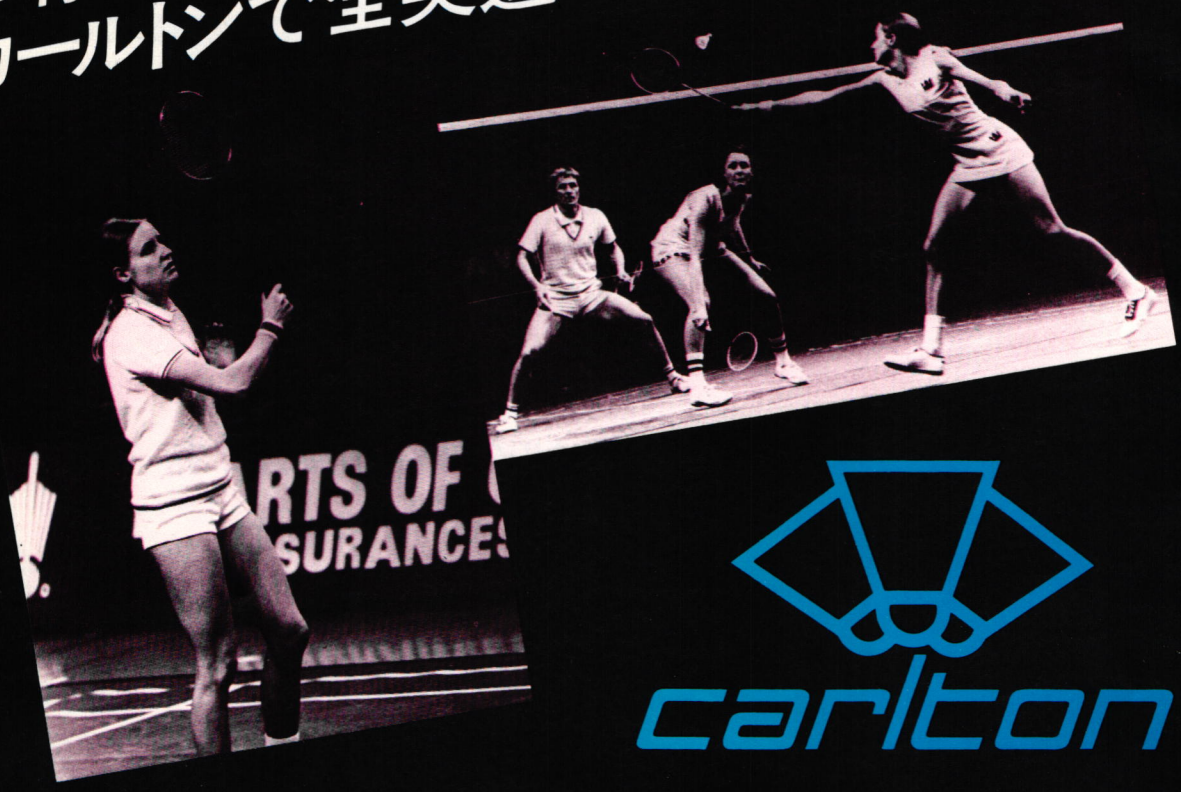


またしても湯木に涙をのんだ植野・シャトルを拾う表情も元気がない

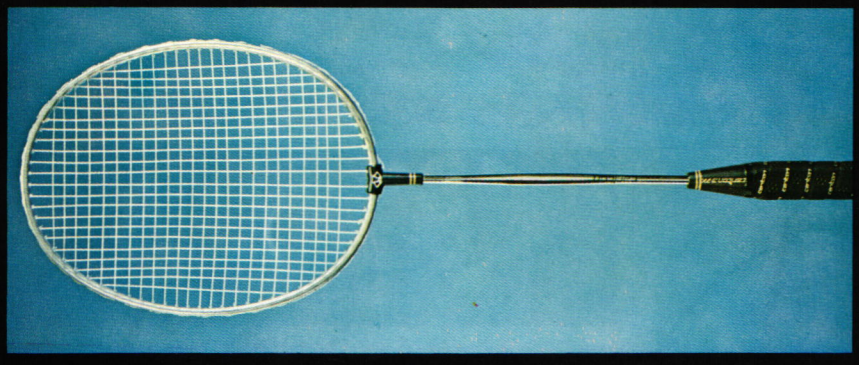


持ち味を十分に出し切った徳田。シャトルを追う目にも鋭さが加わってきた

ご存知、ギルクス夫人。
カールトンで全英選手権3種目制覇!!

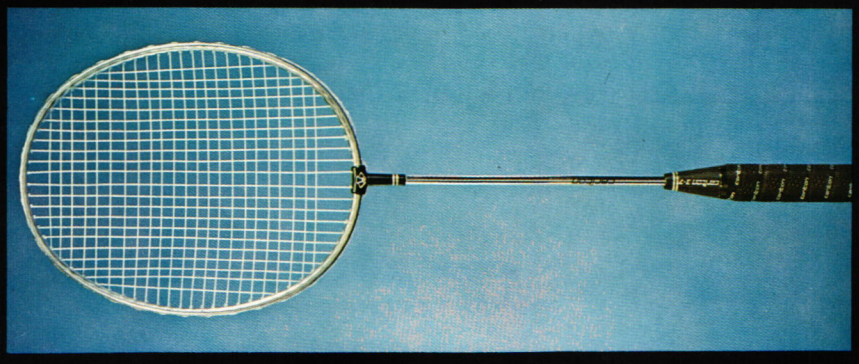


carlton



carlton
3.7X

¥9,500
(カバー付)
ステンレスフレーム フラット・シャフト使用



carlton
3.7

¥8,500
(カバー付)
ステンレスフレーム テーパー・シャフト使用

metro

総発売元 メトロレジャー株式会社
〒101東京都千代田区外神田5－6－4 ☎(03)833－3661(代)

from carlton England

1,000,000ダース

カールトン・ナイロンシャトルの年間生産量です。

ニュートーナメント

1個
¥280

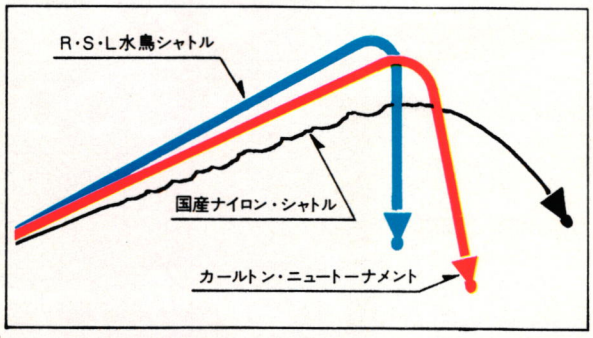




インターナショナル

1個
¥220

だから、こんなに安い価格で輸入品がお求めになれます。





ニュートーナメント：ターンオーバーがはやい。

左の図は、シャトルの飛行線を表わしたものです。カールトン・ニュートーナメントが水鳥シャトルの飛び方にいかに酷似しているか、おわかり頂けると思います。

しかも、国産品とは飛びが違います。

総発売元 メトロレジャー株式会社
〒101東京都千代田区外神田5－6－4 ☎(03)833－3661(代)

だから
シャトルコックならカールトン

（16ページから続く）

反対側のゾーンでは、河崎ラケットとヨネックスの力がぬきんでており、両チーム共順当に準決勝に進出するだろう。

河崎ラケットは、湯木を中心に池田と新人の千葉（日女体大）、若海（大妻女大）の加入もあり、シングルス、ダブルスともに穴がなくなってきた。過去池田が団体戦で力を十分に発揮しきれていないが、このようなことがあると、千葉に負担がかかりそうである。

ヨネックスは昨年決勝進出の原動力となった古谷が抜け、栂野尾、陣内ではスタミナが心配されるところである。我妻、今田、坂本、と一応メンバーは揃っているが、力不足の感はまぬがれないところである。

その他のチームでは、琴平電鉄、百十四銀行、旭光学、トヨタ自工、北辰電機が活躍を期待される。

こうしてみると、決勝進出はサントリーと河崎ラケットと予想され、湯木の単、複しか確実に計算できない河崎ラケットと豊富な駒を持っているサントリーが、大激戦を展開し、若さとスタミナにまさるサントリーが、第2ダブルス、と第2、第3シングルにやや優位と思われるところから、総合力でサントリーの2連覇の可能性が大である。

9・3 男子シングルス

このところすっかり自信をもっている銭谷（河崎ラケット）の優勝は動かぬところであろうが、進境著しい土田（電電東京）と谷口（トヨタ自工）、今泉（高岡市役所）が銭谷にどこまで迫るか興味深いところである。

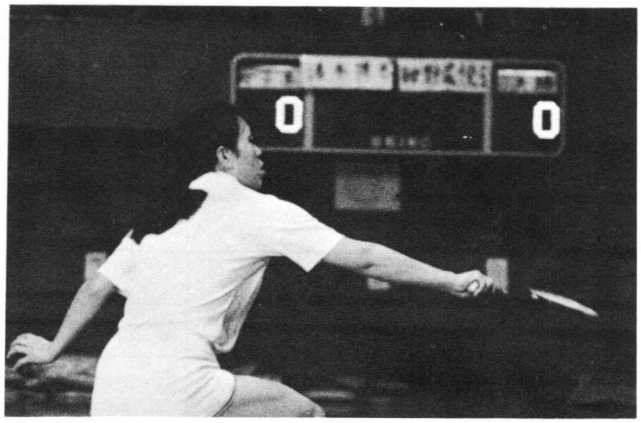
その他でこれらに迫る選手は、飯野（ヨネックス）、米沢（高岡市役所）、尾崎（電電東京）、笠井（関東自工）と新人の辻（ヨネックス）、中井（河崎ラケット）がどこまでやれるか注目したい。

9・4 男子ダブルス

優勝候補は目白押しであるが、順当にゆけば過去2回圧倒的強さで優勝している栂野尾、飯野組（ヨネックス）の3連勝と思われる。長身コンビの高いところからのスピード攻撃が爆発するとちょっと手が出ないだろう。

しかし、池田、尾崎組（電電東京）、今泉、牧野組（高岡市役所）、田所、土田組（電電東京）、銭谷、中井組（河崎ラケット）と強豪がひしめいており予断は許せないところである。

その他で期待されるペアでは、米沢、米原組（高岡市役所）谷口、磯野組（トヨタ自工）高木、遠藤組（電電北海道）、笠井、高橋組（関東自工）それに地元の鷲尾、秋葉（スワ



湯木博恵

過去の戦績より（○内数字は第何回大会かを示す）

男子団体の部	優勝	準優勝
十条製紙・伏木(富山)	①②③⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	
電電東京(東京)	⑫㉓㉔㉕	⑩⑪⑬⑭⑮⑯⑱⑲㉑㉕
トヨタ自工(愛知)	⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲㉑	①④⑫⑳
ヨネックス(東京)	⑳	⑰㉓
高岡市役所(富山)	㉒㉕	㉔㉖
ナルトスポーツ(神奈川)		②
日産自動車(神奈川)		③
日本鋼管鶴見(神奈川)	④	⑤⑥⑦⑧
札幌鉄道管理局(北海道)		⑨
河崎ラケット(東京)		㉒

①S26年　②S27　③S28　④S29　⑤S30
⑥S31年　⑦S32　⑧S33　⑨S34　⑩S35
⑪S36年　⑫S37　⑬S38　⑭S39　⑮S40
⑯S41年　⑰S42　⑱S43　⑲S44　⑳S45
㉑S46年　㉒S47　㉓S48　㉔S49　㉕S50　㉖S51

最多優勝……10回　十条製紙伏木（富山）
8回　トヨタ自工　（愛知）

連続優勝……7回　十条製紙伏木（富山）
7回　トヨタ自工　（愛知）

ロー化研）、滝野、岩田（電電近畿）と思われる。

9・5 女子シングルス

何といっても全日本、全英チャンピオンでもあるバドミントンの女王湯木（河崎ラケット）の7連勝は確実であろう。この5年来国内公式戦はシングルスで無敗であり、試合のかけ引き、緩急自在のストロークに正確なコントロールで他の追随を許さないと思われる。

湯木に迫る選手では、徳田、高田のサントリー勢と池田（河崎ラケット）これに続く選手では西尾、秋本八（サントリー）、沼能（旭光学）、千葉（河崎ラケット）、池田（電電東京）であろう。しかしながら現在の湯木からは、1ゲーム取れば上出来だろう。

その他では石原（琴平電鉄）、牛田（百十四銀行）、今田（電電東京）らも期待される。

9・6 女子ダブルス

今回は2連勝を狙う湯木、池田組（河崎ラケット）にとっては、徳田、高田組（サントリー）、栂野尾、陣内組（ヨネックス）、谷、秋本組、西尾、秋本組（以上サントリー）と続いており、どれをとっても容易ならざる相手ばかりで男子同様混戦が予想される。

湯木、池田組の調子が今一つピリッとしたものがなく、社会人2年目を迎えてペースもつかんできたサントリー勢が栄冠を得る可能性も十分ある

その他のペアでは池田、今田組（電電東京）田所、石原組（琴平電鉄）、日向野、沼能組（旭光学）らに期待がもてるだろう。

男子ダブルス・四強の激戦がみもの、個人戦種目では最もみごたえのある試合が数々予想される。

女子シングルス・湯木（河崎ラケット）の7連勝をはばむものは誰か

女子ダブルス・男子同様五強の激戦で優勝の行方は混とんといったところ。

10 みどころ

男子団体・電電東京の2連覇通算5度目の優勝なるか

・四強が実力迫仲であり、いかにからみ合うか

・新人の活躍が期待される河崎ラケット、ヨネックス

女子団体・サントリーの2連覇なるか

・新人の活躍で河崎ラケットが優勝を奪回するか

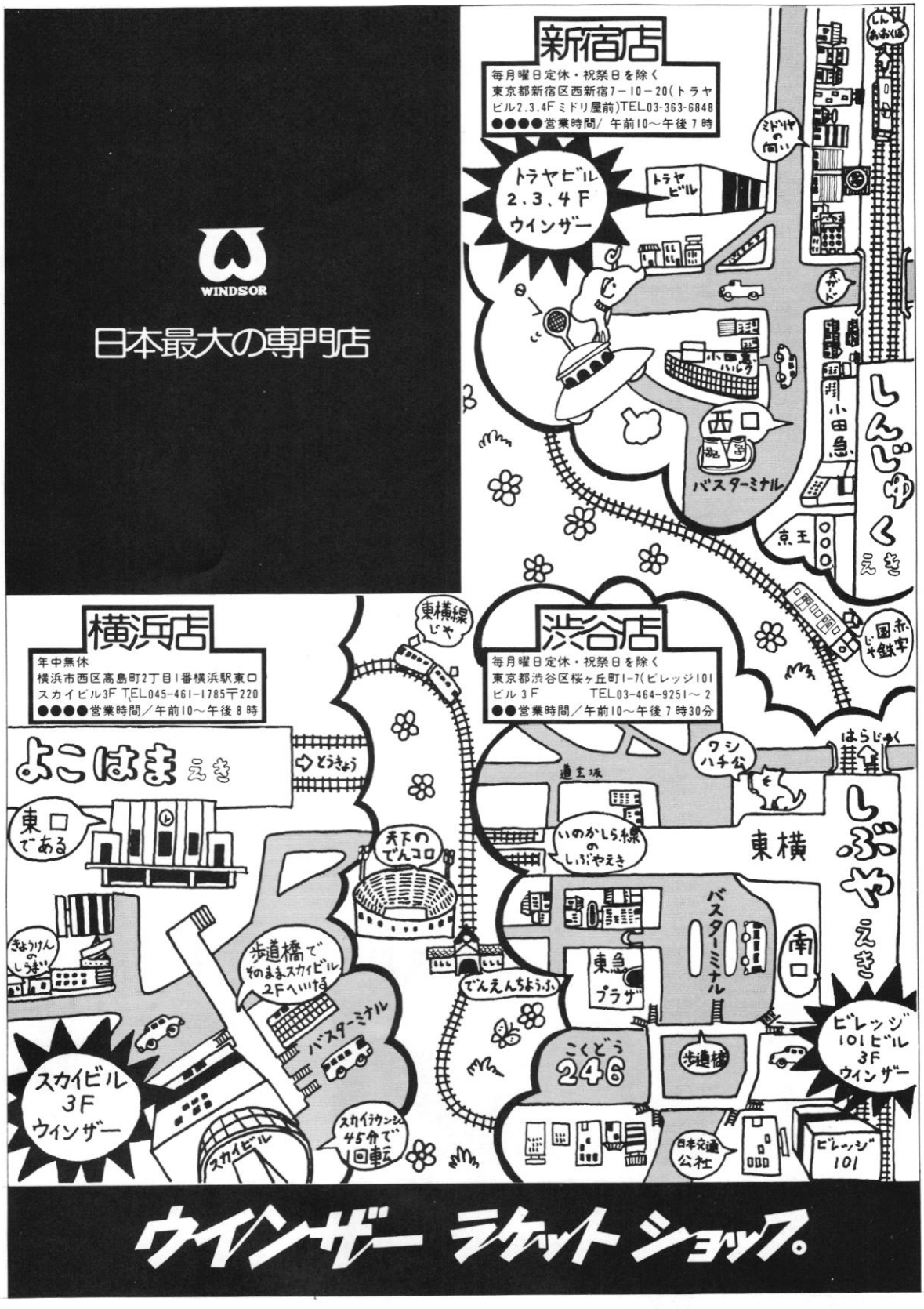
男子シングルス・銭谷（河崎ラケット）の3連勝なるか



過去の戦績より（○印内の数字は第何回大会かを示す）

女子団体の部	優勝	準優勝
トヨタ自工(愛知)	①②③④	⑥⑭⑮
仙台郵政局(宮城)		⑤
日本コロムビア(神奈川)	⑤	①②③④
岡山市役所(岡山)	⑥	⑦⑧
森岡経理事務所(香川)	⑦⑧	⑨
高岡市役所(富山)	⑨⑩	⑪
帝国石油(秋田)	⑪⑬	⑩
金森商店(富山)	⑫	
琴平電鉄(香川)	⑭⑮⑯⑳	⑫⑬
電電東京(東京)	⑱	⑯⑰㉑㉒㉔㉕
百十四銀行(香川)	㉑	㉓
三菱電機(兵庫)	㉒	
ヨネックス(東京)	㉓	㉖
河崎ラケット（東京）	㉔㉕	
サントリー(大阪)	㉖	
北辰電機(東京)		⑱
豊田織機(愛知)		⑲
三菱自工(京都)		⑳

注：大会回数に25を加えた数字が昭和年度である。


WINDSOR
日本最大の専門店
新宿店
毎月曜日定休・祝祭日を除く
東京都新宿区西新宿7－10－20(トラヤビル2.3.4Fミドリ屋前)TEL.03-363-6848
●●●●営業時間/ 午前10～午後7時
トラヤビル 2、3、4F ウインザー
トラヤビル
ミドリ屋の向い
しんじゅくえき
西口
バスターミナル
京王
小田急
横浜店
年中無休
横浜市西区高島町2丁目1番横浜駅東口スカイビル3F TEL.045-461-1785〒220
●●●●営業時間／午前10～午後8時
よこはまえき
どうきょう
東口である
スカイビル 3F ウインザー
きょうけんのしゃしょ
歩道橋でそのままスカイビル2Fへいける
バスターミナル
スカイビル
スカイラウンジ45分で回転
東横線じや
渋谷店
毎月曜日定休・祝祭日を除く
東京都渋谷区桜ヶ丘町1-7(ビレッジ101ビル3F TEL.03-464-9251～2
●●営業時間／午前10～午後7時30分
ワシハチ公
はらじゅく
通玄坂
しぶやえき
東横
いのかしら線のしぶやえき
天下のでんコロ
でんえんちょうふ
東急プラザ
バスターミナル
南口
こくどう246
歩道橋
ビレッジ101ビル 3F ウインザー
日本交通公社
ビレッジ101
赤坂
ウインザー ラケットショップ。

新連載

エツコの〝バドミントン・ライフ〟

梅野尾悦子

今月号から、今や全英選手権、第一回世界選手権と女子ダブルスに連勝し、ダブルスプレーヤーとしての地位を不動のものとし、時の人となった感のある梅野尾悦子さんに、ラケットをペンに持ち換えていただき、半生記をつづってもらいます。題して〝エツコのバドミントン・ライフ〟ご期待ください。

マルメの世界選手権を終えて羽田空港へ到着すると、大勢の出迎えの人達に混って、父と母の姿がそこにありました。石川県からわざわざ祝福しに来てくれたのだなと思うと、優勝した瞬間にも優るとも劣らない感激がこみ上げてきました。海外遠征には慣れっ子になっているはずなのに、でも沢山の人達の前で家族だけの喜びに浸ってばかりもいられません。協会の方、会社の人、報道関係者の皆さんへ帰国の挨拶、結果の報告と案外これで忙しいのです。

羽田では話す暇もないほどでしたが、翌日そして今日と、ゆっくり親子水いらずの時間を持ち、久し振りに親孝行（？）したような気分になりました。上野から発つまでの一時間あまりの上野動物園の散策は、いい思い出になりそうです。天気は上々だったし、あれでパンダを見ることができたらいうことなかったのに。あいにくパンダの休息日にぶつかってしまいましたが……。

この両親と、そして家族と郷里に住んでいた幼い頃を思い浮かべると、近所の海や、山や、川が走馬燈のように駆け巡ります。

家から二～三分も歩くとそこはもう海で、白い砂浜が続き、波打ち際を暗くなるまで飛び回りました。ある時、夕暮れの中でかくれんぼをしていたところ水溜りに落ちて、びしょびしょに濡れて帰ったこともありました。

小学校六年当時、一三七センチしか身長のなかったわたしは、細い足をして、よくみんなから火箸のような足といわれたのを憶えています。クラスではいつも前から五～六番目でしたが、体操と音楽の時間が特に好きで、

わざわざ羽田まで迎えにきてくれた両親と





「赤ちゃんの扱いがとても上手だった」とほめてくれくれました

はしゃいだり、跳んだりはねたりしていれば機嫌のいい方でした。

家の中でも、年が離れてケンカにもならない兄に、よくつっかかってはレスリングのような真似をしたものです。けれどまったく男の子のようだったと思われても困りますから弁解しておきますが、お人形が大好きで、毎晩ふとんの中に入って一緒に寝たりもしました。母に影響されたのか針仕事も好きで、下着を縫ったり、細々としたことを好んでやっていました。家庭科で習うようなものはほとんど進んでしたせいか、今でもきちんと整理整頓する癖だけは残っているようです。

父から受け継いだのは、これはおかしいことに〝茶目ッ気〟といいましょうか、田舎の言葉では〝おチャビさん〟といって、ひょうきんな面が似てしまいました。いつだったか、道の向こうの方から当時小さな町の消防団長をしていた父が歩いてきたのですが、すれちがいざまに二人が同時に〝敬礼〟をしたのです。

後で思い出してもおかしくて仕方ありません。ふだんは無口（このところはあまり似ていませんが）ですが、時々このような面白いことをする父の血を、そっくりそのまま貰ってしまったようです。その証拠に、幼い頃の写真には真面目な顔をしたものがあまりなく、ほとんどがふざけたり、おどけているものばかりです。

毎年、秋になると「あかつき遠足」。8キロほど離れた〝ダンゴ山〟へ、朝も暗いうちから出かけ一日中、山の中で遊んだり、小学生時代の思い出には、必ず郷土の海や、野や山が背景となって、あざやかな舞台を提供してくれます。

そんな私が、中学校へ進学してバドミントンを始めるようになったのが、それからの人生を大きく変えてしまおうとは……。

体操とかバスケットとか、ほかにしたいスポーツがあったのですが、田舎の中学にはそんな施設がなく、仕方なく友達と一緒に、それこそ動機も何もなく偶然に入ってしまったのです。

中学時代のクラブの思い出といえば、夕方練習が終っての帰り道、学校からは禁止されていた〝買い食い〟をして、アイスキャンデーを食べながら帰ったとか、試合があると、顧問の先生にご馳走になったうどんの味が忘れられません。そんなことが楽しくて楽しくてクラブを続けていたのかも知れません。それとも子供の時から、食い意地だけは人一倍だったのでしょうか。

（つづく）



久し振りの親孝行、上野公園はいい天気でした

新 ガッツ小島の体当り実戦教室 2

かつ、勝つ、克つ

●小島一平

単調な基本練習に打ち勝て!!

基本練習を長時間やるほどつまらなく、辛いことはない。しかしこれを克服してこそ真のプレーヤーになれるのだ。強いプレーヤーに成長するのだ。

とかく基本練習は集中力を失いやすく、また適当になりがちで我慢ができなくなる。しかし要は、この問題も気持ちの持ちようで、解決できるはずである。トレーニングに言い換えるならマラソンと同じである。その苦しくて単調な動作の中で、何を考え、何を想定してできるかがポイントとなってくるのだ。

勝つためには勝つ意欲を強く持つ。これが強ければ強いほど練習にのめり込めたし、またそのような練習を克服しなければ、栄光は手中に収められないと思って私はやってきた。そして、ここでくじけては駄目だ、もうひと頑張りと自己に対して厳しく、強敵のライバルも自分以上に激しい闘志と集中力でやっていると仮定して取り組んできた。

「人に勝つより、まず自分に勝つ」ことが、何事においても先決ではないだろうか。

強くなるには我慢が大切!!

選手生活に入り、本当に強くなりたいと思うと同時に、確固たる目標を持った以上は、余計なことは我慢しなければ、とても目標など達成できるものではない。やれ日曜日はどこへ行こうかとか、何をしようなどとスケジュールを作った人にいちいち付き合っていてはまずアウトだ。一日は24時間。必ずやる気であれば、一時間や二時間は練習に当てられるはずだ。とにかく何でも良いから、ガムシャラに体を動かすことである。

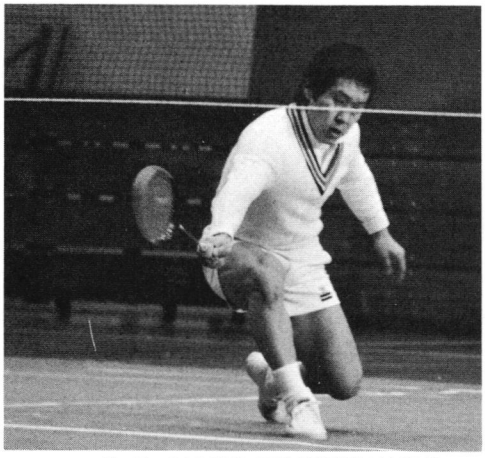
体に覚え込ませること!!

確かに練習方法も大切であるが、それよりも訓練によって、自分の体に覚え込ませることはもっと大切ではないだろうか。

運動能力が多少劣っていても、長年努力することによって、必ず道は開けるものだ。中学、高校で抜群の成績であっても、その後いっこうに伸びのない選手をよく見かけるが、故障を除いてほとんど努力を怠ったために、つぶれていく選手が多いわけではないだろうか。鉄は熱いうちに打てと言うが、18～22歳ぐらいまでが一番重要だ。一日たりともトレーニングを休まない心掛けが必要である。

勝っても負けても強くなれ!!

プレーヤーにとって試合に勝つことほど良



〝ガッツ小島〟の異名復活はいつか

い薬はない。それにより大きな自信を持ち、また一つ上の目標に向かい突進できるからだ。とにかく勝負は白黒がはっきりするのであるから、負けた場合に逃避してはならない。敗北という事実を真正面から受け止めて、次回に雪辱を期すのが本当のスポーツマンである。

勝つことにより今まで以上に自己に厳しく、また負けた時はそれ以上に悔恨を練習にぶつけることが、勝利者への道である。

自分との闘いに終始することが必要!!

現在は、マンツーマンでコーチと練習できることなど、まず不可能である。だからこそなおさら誰が見ていようといまいと、常に妥協することなく、叱咤激励し、あくことなく限界へ挑戦する姿勢が要求される。

長時間の練習においては、思考力はもちろん、肉体的にも疲れてくる。しかし、それからいかに、精神力が継続するかが根性ではないだろうか。すなわち、疲労してからが勝負であるということを声を大にして叫びたい。特に強調したい点である。

目標を的確につかむこと!!

辛い練習に打ち勝とうと思えば、目標を常に頭の中に叩きこみ、一日も忘れずにすることだ。それだけでも練習態度に現われ、苦しくなっても踏ん張る精神が生まれるのである。目標を持たない選手は、辛くなった時に勝てないだろう。

どうせ目標を持つのなら、でっかい目標を持ってみよう。たとえそれが達成できない場合でも、そんな気持ちでプレーを続けた人は、いずれチャンスをつかめることだろう。

ということは、常に真面目に練習している人はチャンスをつかめるが、適当にやっている人はたまたまチャンスに恵まれたとしても、つかめずに、選手生活に大きなマイナスをきたすのである。

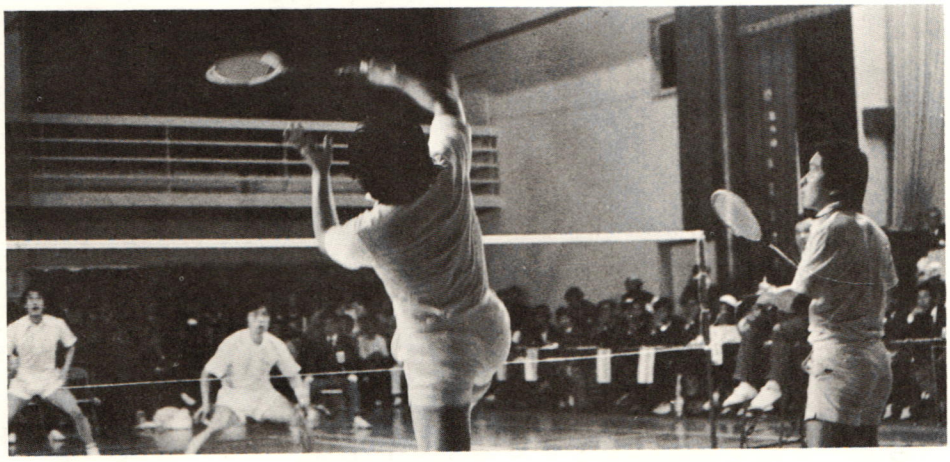
練習のムードを盛り上げよう!!

伝統のある学校、また目標に向かって一丸となっている学校は、一歩体育館へ足を踏み入れただけで、ピーンと張りつめたものを感じる。よく声を出している学校があるが、これもいいだろう。しかしそれよりも、全員が鋭い目をし緊張感でピリピリしている感じが素晴しい。練習のムードを盛り上げることにより、苦しい辛い練習にも励まし合って立ち向かっていけるのではないだろうか。これが本当のチームワークというものだろう。



神奈川代表として、国体ではチームの中心

国体に２連勝。単複にフル出場して頑張っています



体験入部

青山学院大学バドミントン部・春季合宿

体育館をゆるがす喚声と熱気

――技術・精神両面の充実をはかる――

20年を超える伝統

青山学院大学体育会バドミントン部は、創設以来二十年以上という伝統あるクラブである。そして、今日にいたるまでの試合成績には、その伝統を感じさせるものがある。今年の春季関東学生リーグ戦では、女子は一部四位、男子は二部優勝をなしとげた。

大学は、東京・渋谷にあり、ランニングを数分すれば、明治神宮・代々木公園・神宮外苑・青山墓地へ行ける。都会のど真中としては、環境良といえる。しかし、夜間にまで及ぶ練習の後、帰路の赤い灯・青い灯に学生達は意志強固にまでして精神面を鍛えているというのは、はたして環境良といえるのかな……!!

恐怖のトレーニング

ジョークはこれくらいにして、このような立地条件を大いに生かしてトレーニングをし、体育館では、他のクラブの部員と競い合うように声を出しながらの猛練習の毎日である。

そこで、同学の春季合宿に体験入部させてもらうことにした。まず、合宿前のトレーニングをのぞいてみた。これは、シーズンオフによる体のゆるみの全快と、合宿時におけるプレーがベストに近い所まで持ってゆけるようにというねらいだった。これは、「強化トレーニング」または名を「恐怖のトレーニング」と呼ばれている。

その様子を少しお知らせしよう。記者が訪れた時は、もう強化トレーニングを開始してから四～五日過ぎた日、残念な事に男子は休日で女子だけだった。しかし少人数ではあったが、体育館・学校周辺を所せましとばかりランニングしていた。記者もスポーツを愛好する者として当然であるように、ただ見学しているにとどまらず、学生達と一緒にトレーニングをさせてもらった。

学生の中には大学に入学してこのクラブにめぐり逢い、スポーツをするようになったという人も多い。この人達にとっては、バドミントンつまりシャトル打ちの魅力にまず取りつかれたため、目からまで汗がにじみでるようなトレーニングも重ね、いざコートに入った時少しでも満足のいくようなプレーが出来る事を目標にしていた。

そしてまたキビシサに魅力を感じるようになり、自らをその中に没頭していっているようにも思われた。そういう人達は、レギュラーと呼ばれる人と同じような量は、こなせないようではあったが、気持だけはいつも張りつめ、頑張っていた。

しかし、このような学生達は強化トレーニングの前日までに何日か自主トレをしていても、男女を問わず、前日あたりは恐怖のトレーニングの事を思うと、寝つきが悪かったり、ひどい人は寝られなかったりするという裏話も聞いた。

精神面の充実も目的

青山学院大学体育会バドミントン部の合宿は、これまでにどのように行なわれてきたかを、女子マネジャーにちょっと聞いてみると、

「毎年三月下旬と八月下旬の年二回、一週間にわたって実施し、なぜこの時期をとるかというと、春季・秋季関東学生リーグ戦に備えてです。そしてこの合宿の行なわれる場所は、その年ごとに違っていて、通常夏は東京以北へ、春は東京以南へ移動し、最近では青森・新庄・奈良・平塚などで実施しました。」

とのことである。

毎回そうであるとの事であるが、恐怖のトレーニングから想像して、きっと目的地に向うまでの車中は、皆しんと静まりかえってシートに着いていると思いきや、なんとおせんべ・おにぎり・サラダにクッキー・ジュースetc……。先輩達からの差し入れなどを広げ、和気あいあいのムードであった。

今回の合宿は、三重県鈴鹿市で行なわれたが、男女総勢二十六名で、これは、例年に比べてかなり少ない人数とのことである。

ところでこの合宿の目的・目標は、約一ヵ月後にせまっていたリーグ戦での上位進出と、一週間の合宿生活を通して、各自の技術向上と、このような生活からでないとなかなか得られないタテヨコの話合い。そして、精神面の充実として、たえず相手の立場を思いやる気持ちを持つことをあげていた。やはり合宿は共同生活なので、気心の知れた仲間同志でもちょっとしたことでトラブルが生じたりする場合もある。お互いが同じような精神状態であるということを常に考え、相手の立場になって考えられる余裕を持つということは、人格形成にもプレーに対する精神力にも大きなプラスとなろう。

ハダ寒さを吹きとばす

いよいよ三重県鈴鹿市の合宿場へ到着。体育館は、近鉄四日市駅からバスで数分の工場地帯の中の中央緑地公園にあり、そこでは数年前インターハイが行なわれた。宿舎はそこから電車で25分ぐらいの白子駅にあり、学生は合宿一週間の前半を四日市立体育館へ通い、後半は白子の鈴鹿市立体育館へ通った。

屋外は三月の下旬だというのに、雨のせいもあるのだろうが、肌寒く、張り切って乗り込んできたのに何だか意気消沈してしまうような感じだった。しかし、やはり一歩体育館の中へ入ると、選手が大声を掛け合って頑張っており、それを見ると、記者の意気も盛り上がり、先ほどまでのものはフッ切れてしまった。


部員の顔にもきびしさが

コートから出れば階段を

男女二十六名が体育館を二つに分け合い、コート五面ずつを使ってのフル回転といった感じで、皆十二分にシャトルを打っていた。男子と女子は同じ宿舎、同じ体育館で合宿をしているが、強化トレーニング、ふだんの学校の練習と同じように、男女はまったく別の練習方法をとっていた。

男子は合宿恒例という2対1の基本練習を、いつ終わるともなく延々とやっていた。一方女子は、例年はこの合宿でダブルスのパートナーを決めるそうだが、今回は合宿前に決定し、合宿にのぞんでは、試合中心のスケジュールを組んでいた。人数の割にコートが五面ずつもあったので、基本練習からゲームまでコートから出ることはほとんどなく、出ている時も、観覧席の高い階段を走っていた。

コートに入ってシャトル打ちばかりで、トレーニングをあまり行なわないとよくないのではないかと心配したが、女子などは連続的にドライブ・オールロング・オールショートなどの練習方法をとり、ノータッチをさせないよう上級生は下級生に気合を入れたり、自らきびしい練習のサマを下級生に見せていた。これならトレーニングにたよる必要もないであろうなどと思った。男子は2対1のフリーを長時間行なっていたが、そのやり方は1になった者が、2の者からノータッチを決められた何十本かを奪いとるまで行なうというなかなかきびしいものであった。

単調さの中に集中力

男女とも、強化トレーニングを経て、十分体力をつけてきたようで、前半の計画にさらに夜間練習を加えた、一日が二倍くらいに感じられるような後半もけが人など出さずにこなしていた。

合宿とは、このような基本練習、例えば、半面コートのクリヤーの場合でいえば、正確に同じ所に打ち返し、同じようにホームポジションにもどるというような、単調でしかし体力がいり、気をゆるめれば当然失敗するというように、その単調さの中で正確さを保つというのは、精神力が非常に重要である。

このような練習の繰返しとなるにとどまるものではない。その練習はもちろん中心ではあるが、やはり協同生活の中のコミュニケーションもその一つといえる。

記者が、いい雰囲気であると思ったのは、車中もまたそうであったが、学生の合宿中のせめてもの楽しみといっている食事の時間である。おもしろいことに、下級生には下級生の食べ方がある。当然ながら、周りに気を配り、何となく落ち着かなく、食べてもどこに入ったのかわからないといった感じである。そして、夕食後の一年生の自己紹介を兼ねての歌や、演芸部長の模範演技などが飛び出したりしたのは面白かった。そしてそんな時、皆しばしの間、明日の恐怖を忘れているようだった。

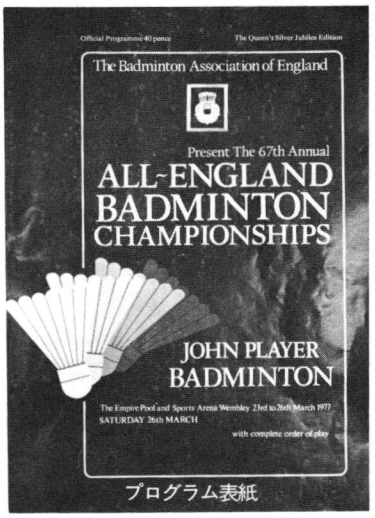
肩組みカレッジソングを

就寝前にミーティングが開かれ、男子も女子も一年の部屋へそれぞれ全員集合するのだった。記者は、女子のミーティングにおじゃまをした。ミーティングの形式は、一人一人が一日の反省を述べ、その日のその人の相手をした人が、注意をうながすといった形で、それぞれプレーを感覚的なものだけでなく、自分なりの理論への方向づけが自然と身につく方法がとられているように思った。

しかし、かなり時間がかかるので、選手は、寝る時以外、一人の時間というものは、まるでないようで、すべて忙しそうだった。しかし、これだけ身を粉にして過ごす合宿は、毎回毎回何か深い思い出が残るものであろう。

最終日には、恒例の恐怖のトレーニング、ダッシュから始まり、中距離競争、etc。そして、最後の馬とびで合宿の予定すべて終わり、肩を組んで、かれた声でカレッジソングを歌ったのである。

全英選手権プログラムにひろう



プログラム表紙



予想・見どころの紹介

さすが歴史の重み　全英プロ

全英選手権大会のプログラムは、例年と同じ判（298ミリ×208ミリ）で32ページ。表紙はロイヤルブルーとクリームの2色刷。

エリザベス女王即位25年（シルバー・ジュビリー）を記念した大会ということで、内容も充実している。

まず会場写真と大会役員の一覧。これは、わが国にときおり見られるような形式主義的な感じは全くなくスッキリしている。続いてエリザベス女王の写真と対向して、即位25年について、そして今大会の見どころが書かれている。この見どころはなかなかよく選手の実力を把握しており、日本の湯木・銭谷両選手についても解説している。

〝日本のすぐれた選手であるミス・ユキが再び参加するのは非常にうれしいことである。彼女は69年、74年と75年に優勝しているのでもし今年優勝すれば、トロフィーを永久に日本に持って帰ることができるわけだ。このことは、14年前のジュディ・ハッシュマン以来の輝かしいことなのだ。〟

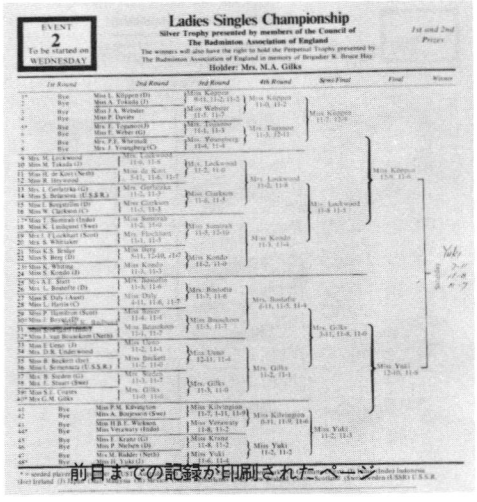
と湯木について説明しているが、まさにこのことが実現したのは、われわれにとっても非常に喜ばしいことである。

このほか各種目の展望があり、最後に〝また来年お目にかかりましょう〟と結んであるが、わが国の全日本総合のプログラムに比べると、かなり差がある。やはり準備体勢の相違であろう。

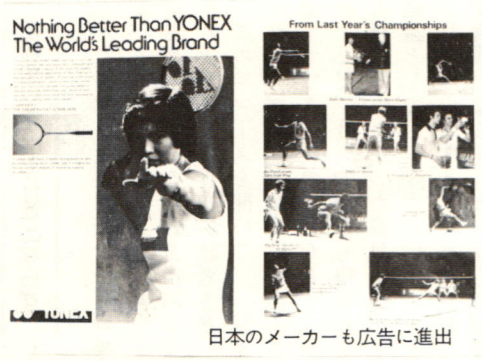
昨年の大会のハイライト・シーンを集めたグラフィカルなページもあり上質の用紙とマッチして見ても楽しい。

そしてこのプログラムの最もすばらしい点は、前日までの記録をきちんと印刷した組合せを収録していることである。編集部の手もとにあるのは最終日のものであるので、各種目の決勝を残し、すべて記録されている。これは、観客に対する大サービスといえよう。

なお、価格は40ペンスで、日本円に直すと約250円になる。



前日までの記録が印刷されたページ



日本のメーカーも広告に進出



タルボット、キン、ジャイルズは一緒に



ギルクス選手の登場する広告



ウェトナール選手も広告に登場

アマチュア感覚に大差

海外のスポーツ界では、アマチュアとプロの交流や、オープン化が進展しており、かつてのようにはっきりと区別するのは困難になってきた。

バドミントンもこの例外ではなく、今年の全英選手権のプログラムを見ると、イギリスのトッププレーヤーが広告に登場している。

順にあげると、P・E・スー・ウェトナール夫人＝ヴィコートの広告に。

リム・スイ・キン、デレーク・タルボット、バーバラ・ジャイルズの三選手がカールトンの広告に。

ギリアン・ギルクス夫人はサンディコ・スポーツの広告にそれぞれ登場している。

日本ではとても考えられぬ情勢だが、バドミントンの発展したイギリスでさえ、こうだから、いずれわが国にもこの傾向は広まるものと考えられる。

皮肉なことに、このうち二社の製品は、日本でつくり、イギリスへ輸出しているということである。

ちなみに日本のメーカーも一社出稿しており、本文中モノクロと表紙③にカラーを掲載している。

全英選手権大会のプログラムにわが国のメーカーも顔を出すということは、選手の躍進だけでなく、産業界の進出も目立ってきたということであろう。

初参加ソ連、上位進出ならず

すでに3月4日付朝日新聞の報道で、ソ連がバドミントンの「世界制覇」をねらって全英選手権にその代表を初めて派遣するというニュースをご存知の読者も多いことだろう。

このニュースを聞いて、「国をあげてのバックアップ」「五輪を開くのをきっかけにスポーツでさらにのし上がる」「スポーツマスターなど、社会的地位も得られるから、選手も頑張る」といった意見を述べる人も多く、結論として、「今すぐにということはないかも知れないが、やがてわれわれにとって大きな脅威となろう」というものが多かった。

そして、今大会の結果は次のとおりであった。

▽男子シングルス
K・ヴァーヴィローフ＝1回戦15―12、15―13P・ボーセン（デンマーク）、2回戦11―15、1―15D・タルボット（イギリス）
V・チシーキン＝不戦敗

▽女子シングルス
S・ベリアソワ＝1回戦2―11、3―11I・ジェラーツカ（西ドイツ）
I・シームニュータ＝1回戦2―11、0―11B・ベケット（アイルランド）

▽男子ダブルス
K・ヴァーヴィローフ、V・チシーキン組＝1回戦9―15、18―15、14―18O・エリクソン、C・ランドベリ組（スウェーデン）

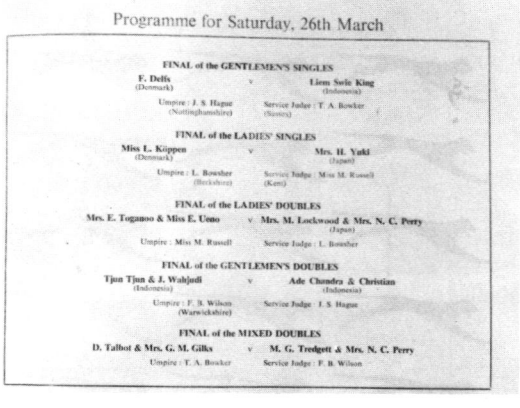
▽女子ダブルス
S・ベリアソワ、I・シームニュータ組＝1回戦18―16、14―18、11―15I・モルシュ、E・ウェーバー組（西ドイツ）

▽混合ダブルス
N・ペシェコノフ、I・シームニュータ組＝1回戦18―15、15―8P・E・バリヴァン、S・ワイタッカー組（イギリス）、2回戦3―15、4―15E・ハンセン（デンマーク）、J・V・ビューセコム（オランダ）組
V・チシーキン、S・ベリアソワ組＝不戦敗

日本選手の顔写真も



当日の試合もきちんと印刷されている




MADE BY SUNBATTA
SUNBATTA
Rush
SunBatta
BADMINTON RACKET
S-75
Rush
サンバタ

協会からのお知らせ

「公認審判員資格特別審査」について

「公認指導員特別資格審査」

――この機会にふるってどうぞ――

◆公認審判員資格特別審査要領◆

Ⅰ　日本バドミントン協会公認審判員資格審査委員会（以下本委員会）は本会創立30周年記念行事として、20周年記念として特別昇級を行った事例にならい、日本バドミントン界の長足の発展に伴って盛大になってきた各種競技会を円滑に運営するため、特別昇級を行い上級審判員の充実をはかる。

Ⅱ　(1)一級審査の申請には、左記のものを本委員会に提出するものとする。

(イ)　一級特別審査申請書

(ロ)　特別申請料

(ハ)　所属都道府県協会長の推薦理由書

(ニ)　当該地区審査委員の連署名捺印

(ホ)　過去四年間の日本協会登録番号

(2)二級審査の申請には、左記のものを本委員会に提出するものとする。

(イ)　二級特別審査申請書

(ロ)　特別申請料

(ハ)　所属都道府県協会長の推薦理由書

(ニ)　当該地区審査委員の連署名捺印

(ホ)　過去三年の日本協会登録番号

Ⅲ　特別申請料は一人二〇〇〇円とする。

Ⅳ　特別認定料は次のとおりとする。

(1)　一級公認審判員は一人五〇〇〇円とする。

(2)　二級公認審判員は一人三〇〇〇円とする。

Ⅴ　公認審判員特別審査会は次の三回に限り開かれる。

(1)　第一回・昭和52年8月（申請期間が昭和52年4月1日～昭和52年6月30日のもの）

(2)　第二回・昭和53年1月（申請期間が昭和52年7月1日～昭和53年12月31日のもの）

(3)　第三回・昭和53年7月（申請期間が昭和53年1月1日～昭和53年3月31日のもの）

Ⅵ　本要領は昭和52年4月1日に発効し、昭和53年3月1日を以て廃止する。

◆公認指導員資格特別審査要領◆

公認指導員制度ができて以来四年を経過したが、創立30周年記念行事の一つとして、本会の普及発展を期するため、特別昇級制度を実施することになりました。この機会に下記の資格を有する方は、次の要領により特別昇級の申請を行なって下さい。なお、その基本は、日本バドミントン協会公認指導員資格審査規定によりますが、次の条項を特別処置として左記のように変更し適用します。

第2章

第4条

(1)　(イ)　本会一級公認審判員の資格を有すること。

(ロ)　バドミントン競技歴または指導歴10年以上を有すること。

(2)　(イ)　本会二級公認審判員の資格を有すること。

(ロ)　バドミントン競技歴または指導歴6年以上を有すること。

(3)　三級指導員の審査基準は下記の項目のすべてに該当しているものとする。

(イ)　本会三級公認審判員以上の資格を有すること。

(ロ)　バドミントンの競技歴または指導歴4年以上を有すること。

第3章

第8条、第9条

一、二、三級特別審査申請方法は下記のものを本委員会に提出する。

(1)　一、二、三級特別申請書

(2)　申請料

(3)　当該公認料

第10条

申請期間は、昭和52年4月1日より昭和53年3月31日までとする。

第11条

申請は、本会地区選出指導委員の推薦により、都道府県協会長が行ない、申請書は一、二、三級の様式による。

第15条
　申請料は、一、二、三級とも一名二〇〇〇円とする。
第16条
(1)　一級指導員公認料は五〇〇〇円とする。
(2)　二級指導員公認料は三〇〇〇円とする。
(3)　三級指導員公認料は二〇〇〇円とする。

本件に関するお問合せ等は、すべてあなたが所属する都道府県協会へどうぞ。

昭和51年度の日本バドミントン協会新役員は、4月号でお知らせいたしましたが、各委員会のチーフおよび担当が決定いたしますのでお知らせいたします。
　各チーフ、メンバーとも正しいバドミントン競技の普及発展のために力いっぱいがんばりますので、読者の皆様もご意見、ご希望などを、どしどしご遠慮なく編集部を通じて、あるいは直接お寄せください。

▼総務委員会
委員長＝組村明、副委員長＝中山広明、保坂俊一、委員＝小泉直坦、増田稔、坂根清貴、矢坂永子、久保田忠宣

▼競技委員会
委員長＝伊藤鉱一、副委員長＝相場清一、関根義雄、委員＝北村優明、神隆、松本弘充、菅原幸雄、山本博光、中島寿禧、毛利清志、浜中誠、本郷節生、前田耕作、山本博、中山邦夫、黒崎二男、野村嘉明、林健二、松村伸二

▼指導委員会
委員長＝伊藤基記、副委員長＝里見光徳、常任委員＝遠井稔男、関根義雄、布引修二、寺田寿、関一誠、須田兼三郎、地区委員＝西村幸衛（北海道）板垣隆房（東北）牧野健夫（関東）須田兼三郎（京浜）朝見順一（北信越）大世古吉弘（東海）谷口章（近畿）松尾益吉（中国）新見泰志（四国）柿木修宣（九州）高橋清治（学生連）京尾孝治（実業団連）宝来敏夫（教職員連）

▼用具委員会
委員長＝池田昌道、副委員長＝神沢暁、常任委員＝竜井昇治、佐藤忠雄、佐々木真、鈴木潔、地区委員＝五十嵐宣善（北海道）竹林克彦（東北）五十里光秋（関東）鈴木潔（京浜）中島寿禧（北信越）大箸昭司（東海）沢寿長（近畿）植田博宣（中国）穐山正雄（四国）和田寿（九州）野口浩造（学生連）幸野邦昭（実業団連）伊藤澄（教職員連）

▼審判委員会
委員長＝青木昭二、副委員長＝井上忠久、三須徳治、常任委員＝大田耕貴、根岸知子、宝来敏夫、村野浩、須田孝夫、家城統夫、地区担当＝笠原一男、五十嵐宣善、荒島敏行（北海道）相場清一、荘司達司（東北）増田保夫遠井稔男（関東）須田孝夫、大田耕貴（京浜）小出沢悟、内多小五郎（北信越）矢野鎮一、伊豆晃（東海）松尾良行、山本博（近畿）石原幸雄、津守幸介（中国）山本邦彦、野口利行（四国）和田寿、伊藤基記（九州）

▼広報委員会
委員長＝小飼栄一、副委員長＝花岡牧夫、常任委員＝栗田光憲、委員＝木目嘉崇、海保正義、関敏夫

▼財務委員会
委員長＝福田武、副委員長＝並木万次郎、常任委員＝加藤武彦、佐藤彦次郎、長谷川綾子委員＝保坂俊一、地区担当＝三宅仁（北海道）相場清一（東北）高橋重夫（関東）荻田実（京浜）大里俊一（北信越）渡辺成雄（東海）吉田健次郎（近畿）山根怜（中国）新名静夫（四国）丸山嘉久（九州）武田玲子（学生連）池田芳麻（実業団連）天野鎮一（教職員連）

▼表彰委員会
委員長＝浅岡武、副委員長＝北義一、委員＝内多小五郎、玉手庸、組村明、伊藤鉱一、遠井稔男

▼選手強化委員会
委員長＝板垣隆房、常任委員＝鈴木幸春、委員＝小林歌子、天野博江、秋山真男

▼国際委員会
委員長＝宮永武司、副委員長＝今北基夫、委員＝山本次生、山本洋彦、組村明、伊藤鉱一小飼栄一、板垣隆房

▼アマチュア委員会
委員長＝小口政雄、副委員長＝里見光徳、委員＝市嶋智三郎、今井先、上田敬次、宮永武司、内藤安雄、横井初夫

協会委員会担当が決まりました

――積極的にご協力・ご援助を――

大会のスケジュールが決まりました

昭和52年大会予定カレンダー

◆国内◆

▼すでに行われたもの

第8回全日本女子チャンピオンズトーナメント（4・24）

▼これから行われるもの

▽第27回全日本実業団選手権大会（6・17～22大阪・京都）
▽第28回全国高等学校選手権大会（8・1～6倉敷）
▽第16回全日本教職員選手権大会（8・8～12下関）
▽第7回全国中学生大会（8・15～17伊勢）
▽第3回全日本男子オールスターダブルス（8・28東京）
▽第20回全日本社会人選手権大会（9・15～18真岡）
▽第32回国民体育大会（10・3～6青森県浪岡）
▽第26回全日本学生選手権大会（11・1～7鳥取）
▽昭和52年度全日本総合選手権大会（12・14～18東京）
▽第5回全日本実業団対全日本学生対抗（1・16東京）
▽昭和52年度全日本総合選手権大会団体戦（2・25、26東京）
▽第9回全日本女子チャンピオンズトーナメント（2月東京）
▽第6回全国高等学校選抜競技会（3・19～21東京）

◆国際・海外◆

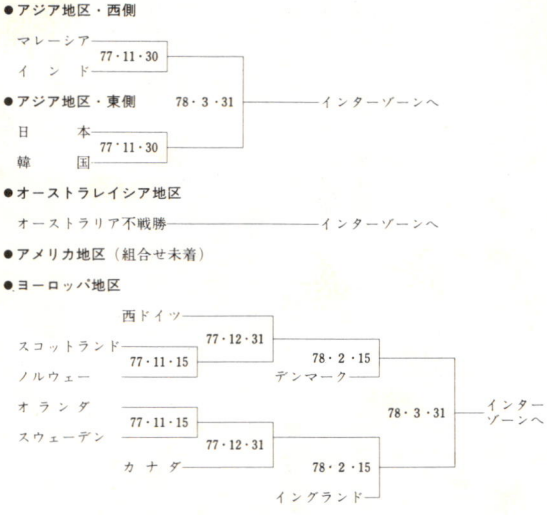
▼すでに行われたもの

▽第1回世界個人選手権大会（5・3～8スウェーデン）

▼これから行われるもの

▽第6回日中親善試合（7月中旬または11月中旬～下旬東京）
▽ニュージーランド・オーストラリア招待（7月中旬～下旬）
▽オーストラリア・オープン（8・27～9・2）
▽カナダ交流試合（未定）
▽カナダ・オープン（10・27～30）
▽第8回世界女子選手権（ユーバー杯）大会アジア地区予選対韓国戦（10・23、30東京）
▽スウェーデン・オープン（1・6～8）
▽デンマーク・オープン（3・8～11）
▽第68回全英選手権大会（3・15～18）
◎ユーバー杯大会アジア地区予選対韓国戦に勝つと3月31日までに、マレーシア対インドの勝者と、アジア地区決勝を行う。

第8回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会組合せ



（注）
日付はいずれも、その日までに対戦するものという意味であって、開催日ではない。
インターゾーンは1978年5月下旬から6月上旬にかけてニュージーランドで開かれる。

編集室から

◆つい昨日まで寒さにふるえていたかと思ったら、もう夏は目の前です。社会人も学生も、ぎっしりつまったスケジュールにコンディションの調整が大変です。暖かいからといって準備運動を怠らないようにしてください。ケガをすると日頃の練習の成果を発揮できずにつまりません。特に下肢を入念に！

◆梅野尾悦子さん、植野恵美子さん、第1回世界選手権の優勝おめでとうございます。全英に続いてのこの制覇はまさに〝壮挙〟といえましょう。これで、ごく一部でささやかれていた人達の〝即席ダブルス〟という声も賞讃の声に変っていくでしょう。ぜひ、次回も頑張って連続優勝をしてもらいたいものです。

◆今月号から梅野尾悦子さんの〝エツコのバドミントンライフ〟が始まります。自らに筆を執っていただいて〝半生記〟としてお届けします。今回は小学生時代の思い出を中心に書いてもらいました。

◆全日本実業団選手権大会の予想を載せました。当るか当らぬかはともかく、大阪・京都の人はぜひご観戦を!!

バドミントン界　通巻第92号　1977年6月号　定価 300円

昭和52年6月1日発行
編集人／赤星　三樹
発行人／秦　浩

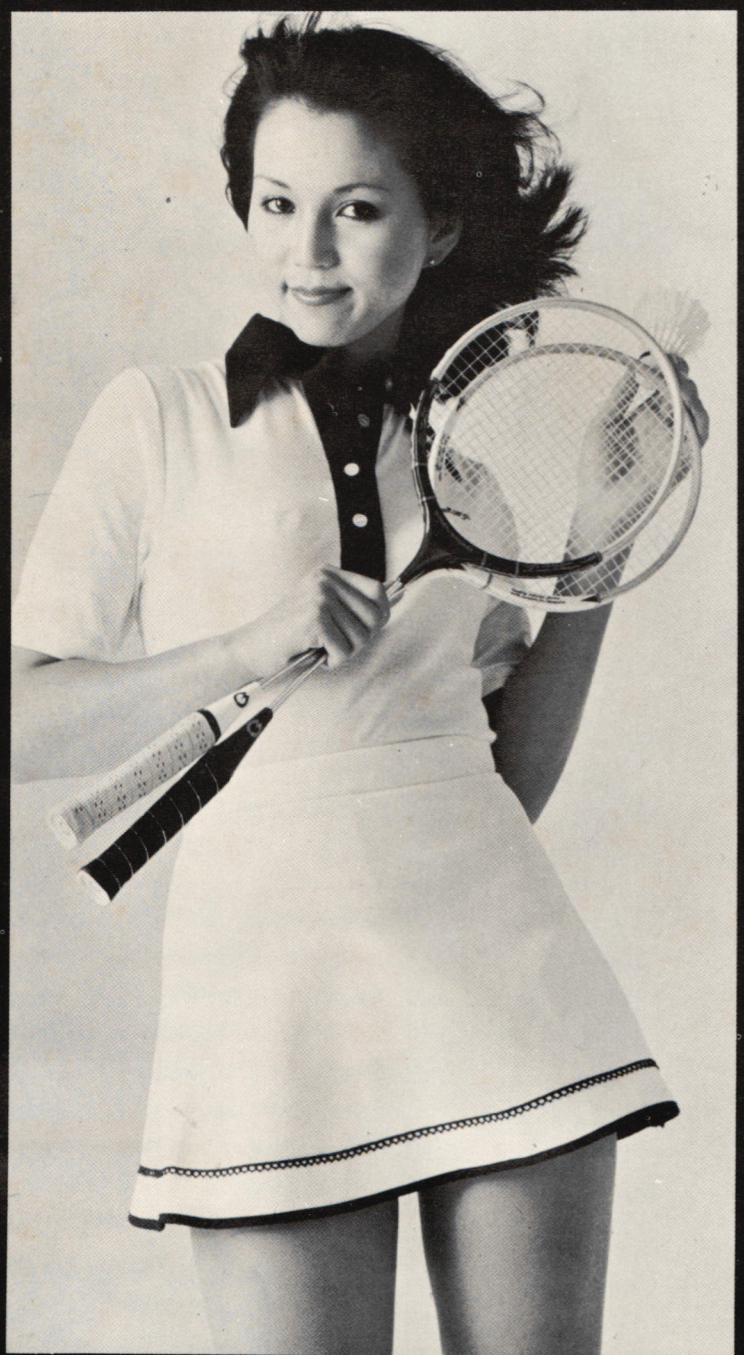
©1977　無断転載を禁ず

発行所・日本バドミントン協会
郵便番号150 東京都渋谷区神南1－1－1　岸記念体育会館
電話　03－467－3111(代表) 内線351
振替　東京5-32193(協会)　東京5-9525(編集部)

ウインテックスウェアはシンプルにはぎれよく

Wintex WEAR®







スワニーが保つ権威の
シャトル/最高級品。

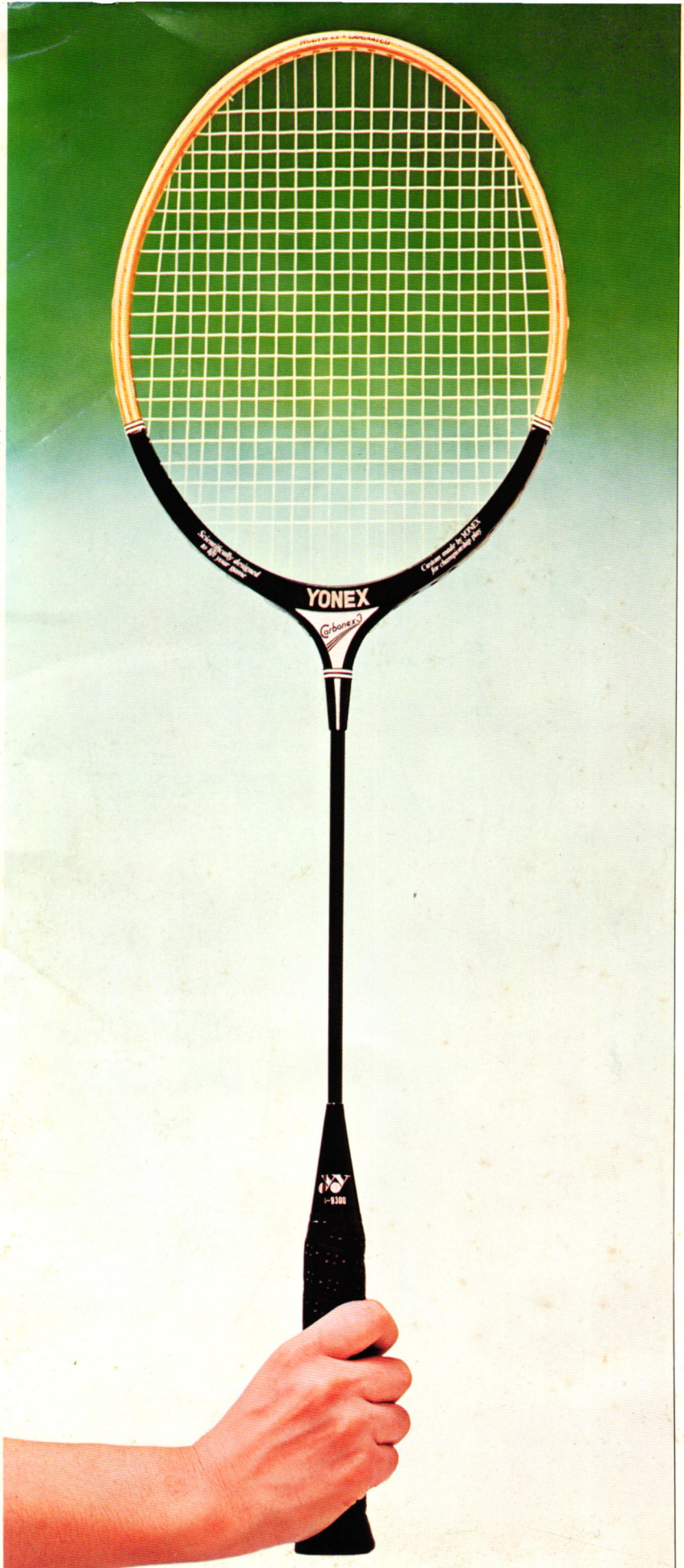


BADMINTON SHUTTLE COCK

SWANY

株式会社ゴーセン
■本　　社●大阪市東区豊後町4　　☎(06)942-5816 代
■東 京 支 店●東京都台東区蔵前4-14-2 ☎(03)862-6576 代
■福岡営業所●福岡市中央区薬院1-4-8 ☎(092)712-5247 代

月刊「バドミントン界」第92号
昭和五十二年六月一日発行（毎月一回一日発行）
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
日本バドミントン協会
定価三〇〇円



凄いのが生まれた、カーボネックススリー。

ヨネックスがまた、世界で初めてということをやってのけました。それが、初のカーボンシャフトをもつラケット、カーボネックススリー。強烈な反発力。そしてすべてのストロークにぴたりと適合するというたぐいまれな特性は、まさにカーボンならではのもの。いわばオールマイティなラケットといえましょう。世界のトッププレイヤーが力から技へそしてまた力へと移ってきた今、その変化に応えられるのはこれ、カーボネックススリー。

B-9300 Carbonex3

● カーボネックス スリー《新製品》……¥7,500

YONEX